
第10回
道路行政マネジメントを实践する栃木県会議

資料

平成23年12月16日

(2) 道路行政をめぐる最近の状況報告

(栃木県内の最近の交通概要)

- ・東日本大震災後の交通状況
 - ・北関東自動車道開通に伴う周辺道路等への影響
 - ・自転車を巡る最近の動向
-

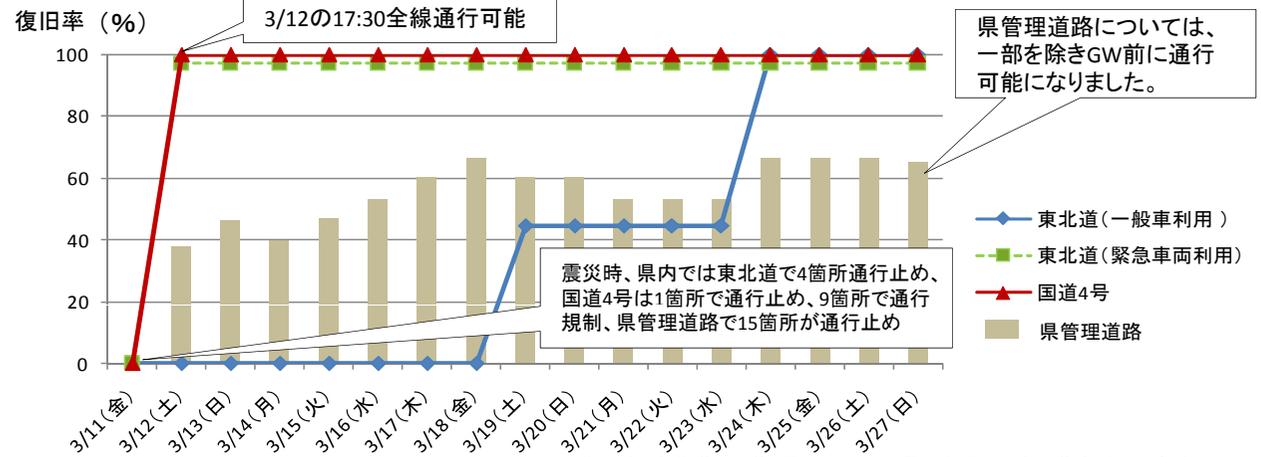
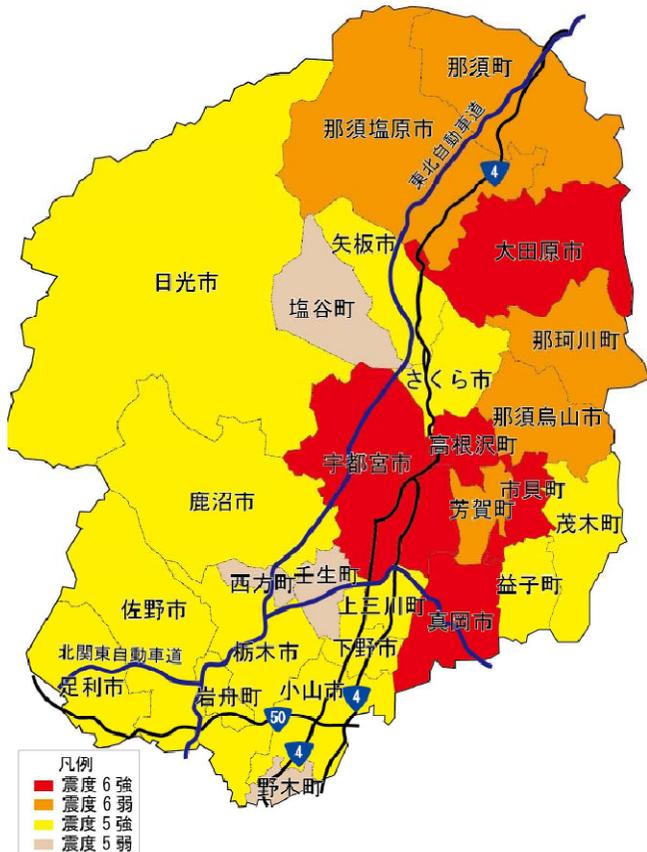
栃木県内の最近の交通概況

東日本大震災後の交通状況(1)

3月11日の地震発生時、東北道、国道4号、県道において、被害が栃木県の広範囲にわたり通行支障箇所が発生。しかし国道4号は震災翌日から全面通行可能に。東北道の復旧に先立ち、物資運搬等を支援。

<地震概要>

- 発生日時 平成23年3月11日14時46分頃
- 震央地名 三陸沖(北緯38.1度、東経142.9度、
牡鹿半島の東南東130km付近)
- 震源の深さ 約24km
- 規模 マグニチュード9.0



出典: NEXCO東日本HP、国交省HP、栃木県HP
 ※復旧率: 東北道、国道4号については県内を通行できる道路延長の割合、
 県管理道路については震災時通行止め箇所に対する各時点の解除の割合

図 大震災による東北道、国道4号、県道の栃木県内の通行止めと解除の推移

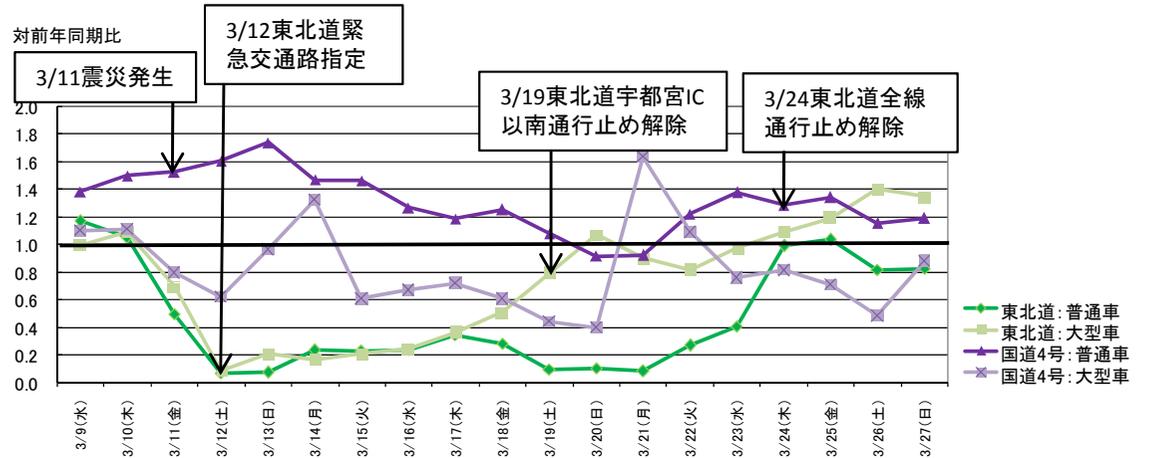


図 東北道、国道4号那須塩原付近の交通量の推移

東北道: 那須IC~白河IC(NEXCO東日本トラカンデータ)
 国道4号: 矢板市土土地先(国交省トラカンデータ)

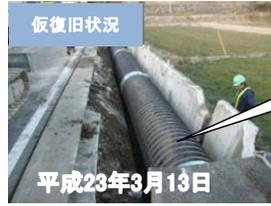
栃木県内の最近の交通概況

東日本大震災後の交通状況(2)

国道4号は震災翌日には仮復旧を実施、一般車両の通行が可能となり、東北地方への物資運搬や避難者経路の縦軸としての役割を果たした。年内には本復旧が完了予定。

(事例)

水路崩壊



3月13日に仮復旧

② 辻室(那須郡那須町豊原丙地先)

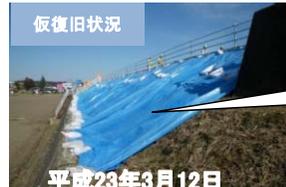
通行止め・迂回路設定



3月12日に仮復旧

路面沈下

法面崩壊、擁壁損傷



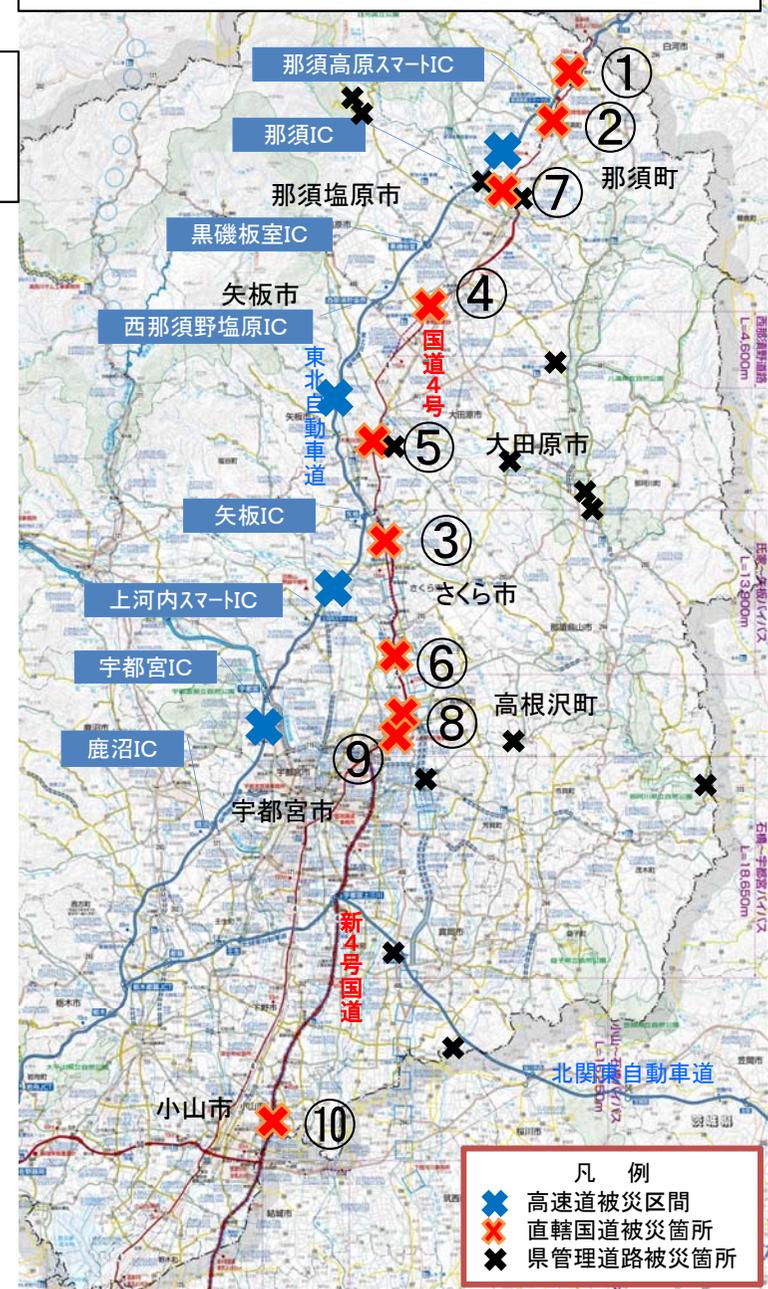
3月12日に仮復旧

④ 東那須野跨線橋(那須塩原市島方地先～大原地先間)

東日本大震災による直轄国道(4号、新4号)の通行支障箇所一覧

被害状況	地点No.	箇所名
崩壊・ズレ・クラック	①	夕狩(那須郡那須町豊原丙地先)
	②	辻室(那須郡那須町豊原丙地先)
	③	乙畑(矢板市乙畑地先)
隆起・沈下・段差・隙間	④	東那須野跨線橋(那須塩原市島方地先～大原地先間)
	⑤	中北(矢板市中地先)
	⑥	上阿久津(さくら市蒲溝沢地先～上阿久津地先間)
	⑦	弓落(那須郡那須町高久甲地先)
	⑧	石神(高根沢町宝積町地先)
	⑨	新鬼怒川橋(塩谷郡高根沢町宝積寺地先)
	⑩	鉢形第2跨道橋(小山市鉢形地先)
変形等		

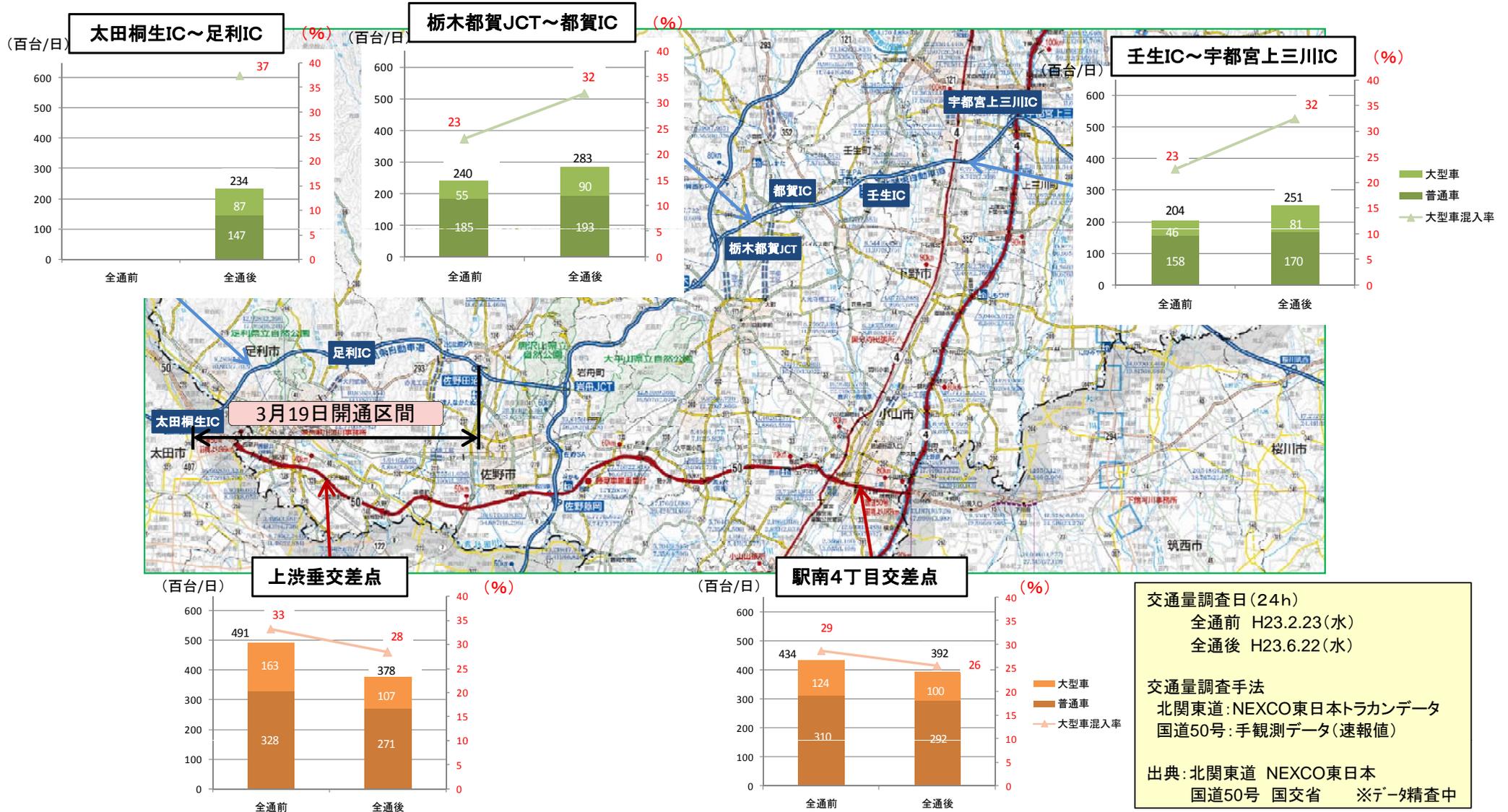
東北道、直轄国道、県管理道路の被災箇所・区間



栃木県内の最近の交通概況

北関東自動車道開通に伴う周辺道路等への影響(1)

北関東自動車道の全線開通により、並行する国道50号の栃木県内の交通量は約1～2割程度減少したが、大型車混入率はほぼ横ばい状態である。



栃木県内の最近の交通概況

北関東自動車道開通に伴う周辺道路等への影響(2)

北関東自動車道の全線開通は、地域の社会経済活動に様々な影響を及ぼし始めている。所要時間の短縮や利用経路が増えたことで、今後の地域の社会経済活動への波及効果が期待される。

足利IC北側の工業団地「足利インター・ビジネスパーク」は17社が入り完売。運送会社の物流拠点などとして稼働(下野新聞6/18朝刊)

仕入れ先の鹿島工場への出張には、北関を利用するようになった。国道50号利用に比べ、時間が半分(4時間から2時間)に短縮された。(佐野工業団地 エスエスシー北関東(株))

北関開通後も来客数は変わっていない。国道50号の交通量は思いの外、落ちてはならず、トラックの道の駅利用量も変わらない。(道の駅みかも 駅長)



足利市の塗料・工業薬品等販売の板通は「支店が北関東中心で物流面で効果が考えられる」と歓迎(下野新聞6/18朝刊)

北関開通前に比べ、群馬方面からの客が3%増え、新潟方面からの観光バスも訪れるようになった。北関利用者から、どこのICで降りればいいのか問合せも多くなった。(佐野プレミアムアウトレット チェルシージャパン(株))



北関開通により茨城港にある車体工場までの所要時間が1時間半短縮、これまで1日1便だったトラック輸送では1日2便が可能に。国道50号の交通量は変わらず、特に駅南4丁目交差点の渋滞は未だ残る。(小山工業団地 コマツ物流(株))

工業用資材販売の関東マルワ産業(宇都宮)は「県南、両毛地区への営業強化を図っている。すぐには実績として表れなくとも、中長期的に当社の伸びしろになる」としている(下野新聞6/18朝刊)

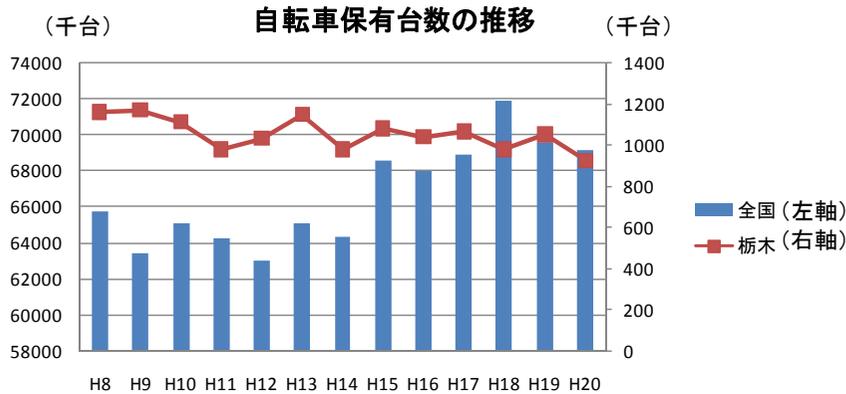
栃木県内の最近の交通概況

自転車を巡る最近の動向(1)

近年の自転車利用の増加に伴い、全国の自転車保有台数は平成18年まで増加傾向であったが、それ以降は減少に転じている。栃木県は横ばいで推移。交通分担では自動車に多くを依存する本県にあって、自転車は全国平均と同じ分担率となっている。

自転車走行空間の現状をみても自動車から分離された自転車走行空間は全国で約83,600km。このうち、歩行者とも分離された空間はわずか約3,000kmにすぎない。また、我が国においては、自転車ネットワーク計画を策定し、計画的に自転車走行空間の整備に取り組む自治体は約30%となっている。

この状況を受け、国土交通省では「安全で快適な自転車利用環境の創出に向けた検討委員会」を設置、本年11月に第1回委員会を開催、来年2月には自転車利用環境創出ガイドラインの提案を行う予定となっている。



[出典: (社)自転車協会資料]



[出典: 国土交通省基本政策部会資料]

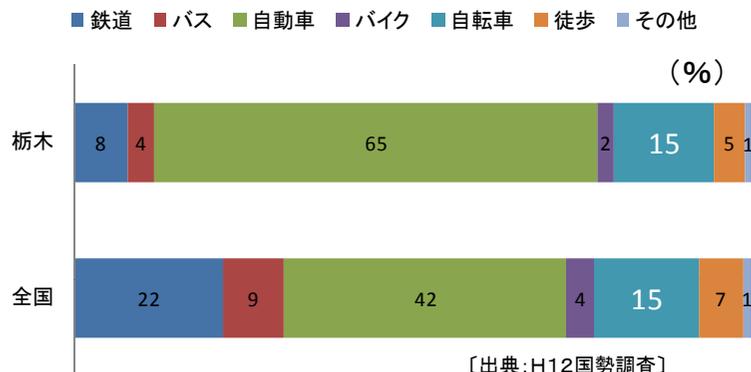
安全で快適な自転車利用環境の創出に向けた検討委員会

委員長 久保田 尚 埼玉大学大学院理工学研究科教授
他 9 名

今後のスケジュール(案)

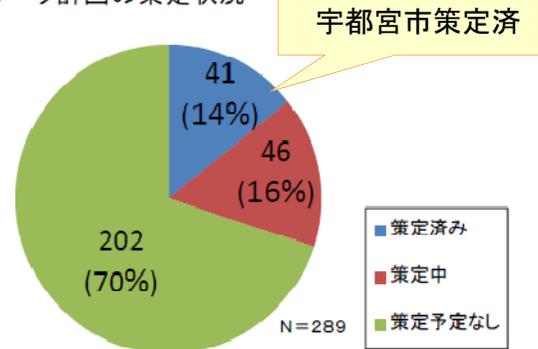
11月	第1回 モデル地区の取組の評価・検証 28日 15:00~17:00
12月	第2回 自転車利用環境創出ガイドラインの検討 15日 13:00~15:00
1月	第3回 自転車利用環境創出ガイドラインの提案
2月	第4回 更なる自転車利用環境の創出に向けた検討
3月	

通勤通学における交通手段



[出典: H12国勢調査]

人口10万人以上の自治体における自転車ネットワーク計画の策定状況



[出典: 国土交通省調べ (平成23年9月実施)]

宇都宮市策定済

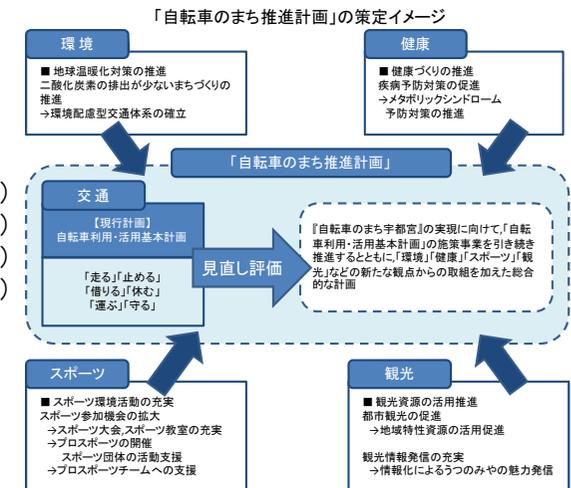
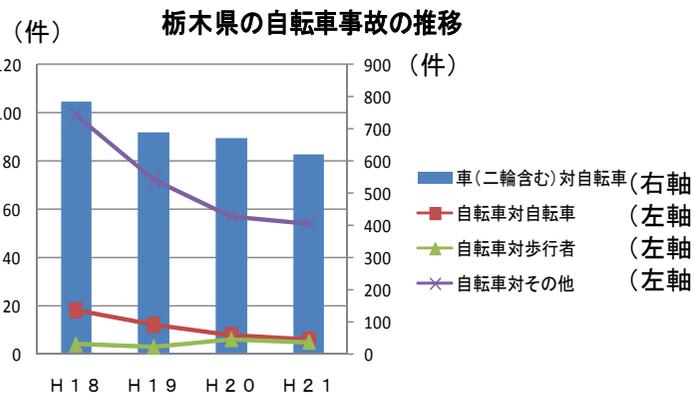
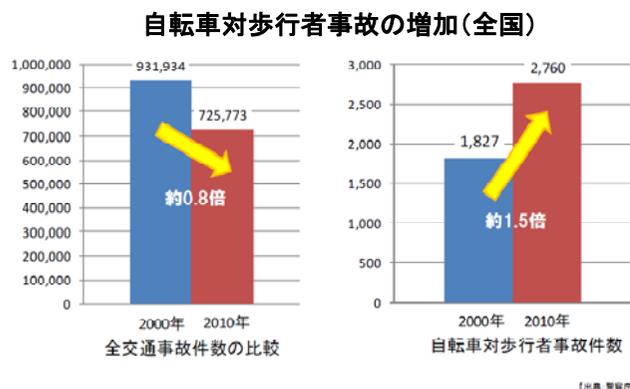
栃木県内の最近の交通概況

自転車を巡る最近の動向(2)

交通事故は全国的な傾向として減少傾向にあるが、自転車関係の事故をみると、自転車対歩行者の事故はむしろ増加傾向にある。

このことから先般、自転車に原則車道走行を促すことを柱とする自転車交通総合対策について全国の警察本部に通告が出された。

栃木県は近年交通事故件数の減少に伴い、自転車事故も減少傾向にある。これは県都宇都宮市などで自転車対策に熱心に取り組む「先進都市」として自転車レーン整備などを積極的に推進していることが奏功していると思われる。



宇都宮市自転車のまち推進計画(平成22年12月)



自転車専用レーン整備事例(藤原宇都宮線(宇商通り):宇都宮市)

毎日 / 頁 2,3,10,26

「自転車は車道」通達

歩道走行、原則禁止

栃木県警察庁が対策強化

【通達】の概要

- 自転車交通総合対策の骨子
- 自転車走行が可能な歩道の見直し
- 自転車道や自転車レーンの整備
- 施設での指導・取り締まりの強化
- 学校と連携した安全教育の推進

【通達】の趣旨

「歩道」の定義

「歩道」は、道路の側方または側方に設けられ、歩行者の通行を主たる目的として整備された部分である。ただし、歩行者の通行が可能な部分であっても、歩行者の通行が主たる目的として整備されず、自転車等の通行が主たる目的として整備された部分については、歩道とは認めない。

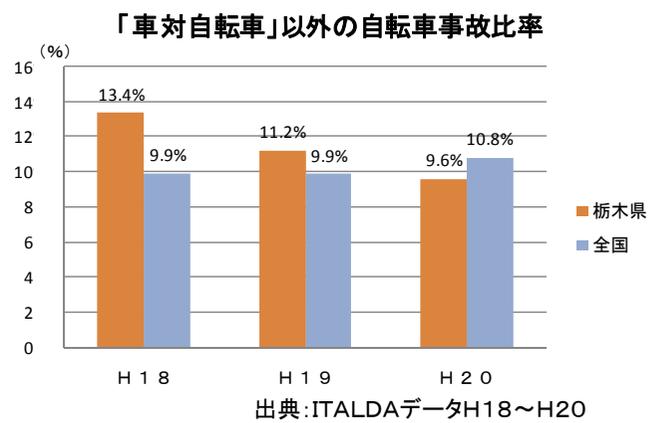
【通達】の趣旨

歩道は歩行者の通行が主たる目的として整備された部分であり、自転車の通行が主たる目的として整備された部分については、歩道とは認めない。したがって、自転車の歩道走行は原則禁止とする。

【通達】の趣旨

歩道は歩行者の通行が主たる目的として整備された部分であり、自転車の通行が主たる目的として整備された部分については、歩道とは認めない。したがって、自転車の歩道走行は原則禁止とする。

出典:毎日新聞H23. 10. 26朝刊



1. これまでの会議の開催経緯と今年度の会議の進め方

道路行政マネジメントを実践する栃木県会議の目的

『道路行政マネジメントを実践する栃木県会議』は、交通渋滞や交通事故対策について、地域の皆さまや、様々な分野の方々からのご意見をお伺いし、道路施策に反映することを目的に、平成17年11月に設置

第1回会議（平成17年11月開催）

第2回会議（平成17年12月開催）

県民アンケート（平成18年2月実施）

第3回会議（平成18年3月開催）

現地診断（平成18年7月、8月）

第4回会議（平成18年8月開催）

第5回会議（平成19年3月開催）

第6回会議（平成19年10月開催）

← 要対策箇所の対策実施

第7回会議（平成22年10月開催）

県民アンケート（平成22年10月～11月実施）

第8回会議（平成22年12月開催）

『事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）』 54箇所 H22.12.20公表

第9回会議（平成23年3月開催）

・ 要対策箇所の選定及び確定
(交通安全：21箇所、渋滞：22箇所)

・ 要対策箇所の対策実施
・ 要対策箇所のフォローアップ

・ 新たな要対策箇所の選定
(交通安全：13箇所、渋滞：5箇所)

・ 要対策箇所のフォローアップ
(交通安全：34箇所、渋滞：27箇所)

・ 『新たな事故危険代表区間（案）』の選定

・ 『新たな事故危険代表区間（案）』の選定

・ 新たな渋滞箇所を把握するための選定基準（案）を提示

2. 道路事業の取組の考え方

これからの取り組み

事業の透明性・効率性を一層高めるため、局所的な事業に対し、データや地域の声等に基づいた、「成果を上げるマネジメント」の取り組みを導入。

限られた予算の中で投資効率を最大限に高めるため、『**成果を上げるマネジメント**』を導入

透明性・効率性を高めるため、客観的なデータに加えて「**道路行政マネジメントを実践する栃木県会議**」からのご意見、ご提言を『**成果を上げるマネジメント**』に反映

より透明性・効率性を高めるために、『**地域の声**』を取り入れる

局所的な対策に加え、今後の道路行政の取り組みに対しても『**地域の声**』を取り入れる

客観的なデータや会議での意見、『**地域の声**』などをふまえ、『**課題の原因分析・対策の立案**』

課題のある箇所について、『**対策を実施**』

完了後の**効果を評価**

(参考)「成果を上げるマネジメント」とは

今後の道路事業のあり方

▶ これまでは・・・

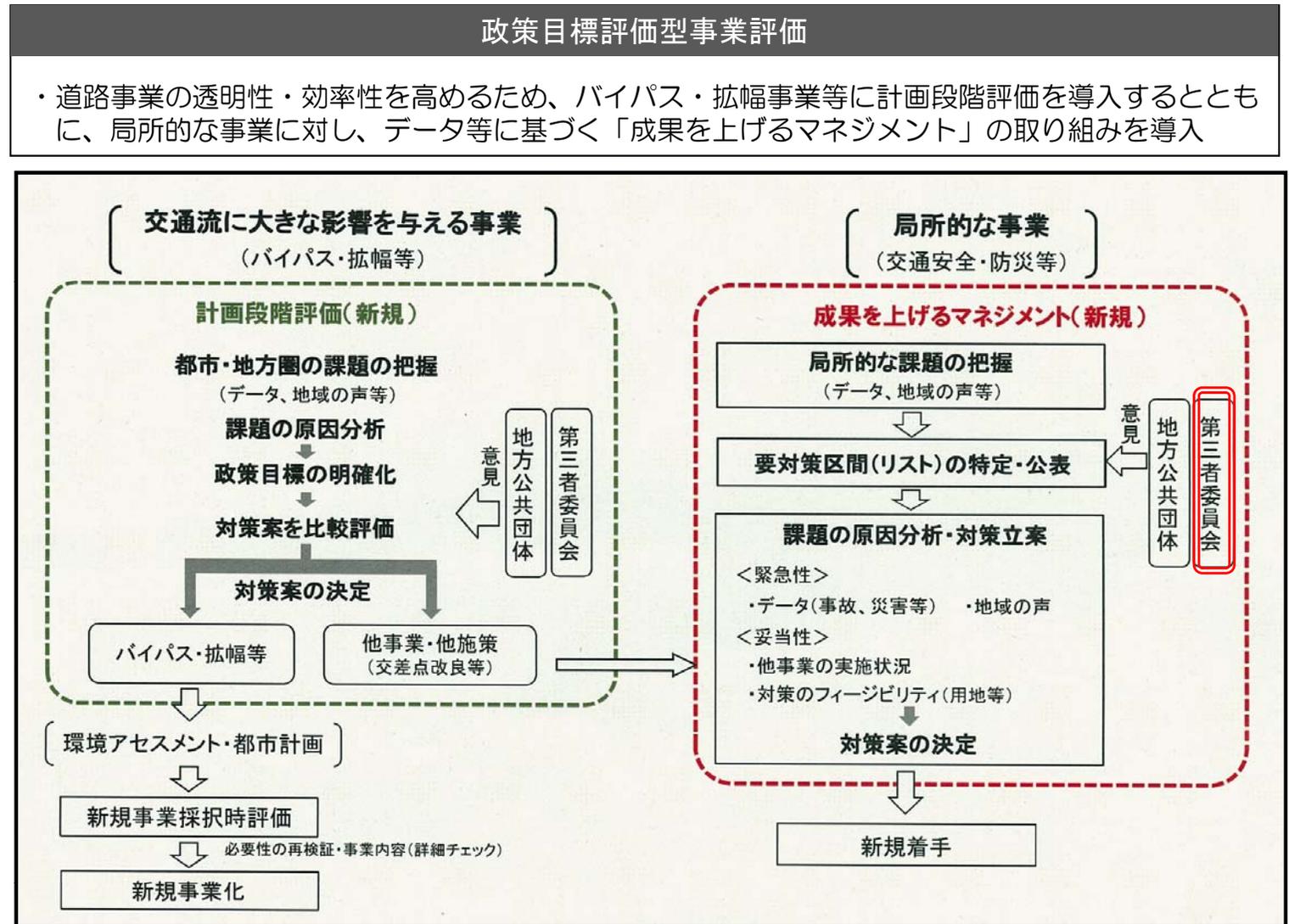
道路見える化計画

- ・課題をデータにより把握する
- ・解決を急ぐべきところから重点的に対策する
- ・道路行政をもっと分かりやすく「見える化」する

安全見える化プラン

渋滞見える化プラン

▶ これからは・・・



(参考)「成果を上げるマネジメント」とは

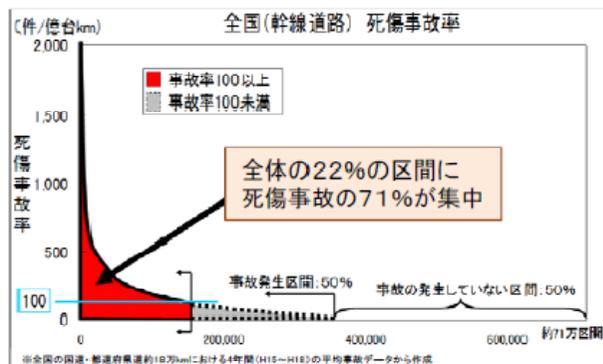
今後の道路事業のあり方

具体的には・・・

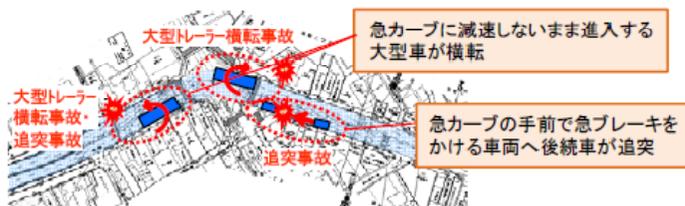
(参考)「成果を上げるマネジメント」(交通安全分野)の導入

限られた予算の中、交通事故対策への投資効率を最大限高めるため、「成果を上げるマネジメント」を交通安全分野に導入。

【交通事故の発生は特定の箇所集中】

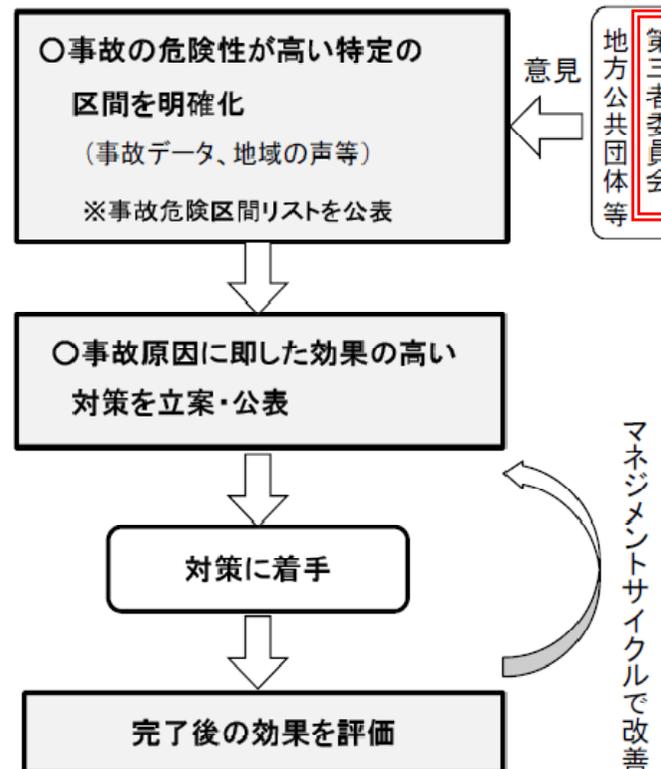


【事故要因に即した対策の立案(イメージ)】



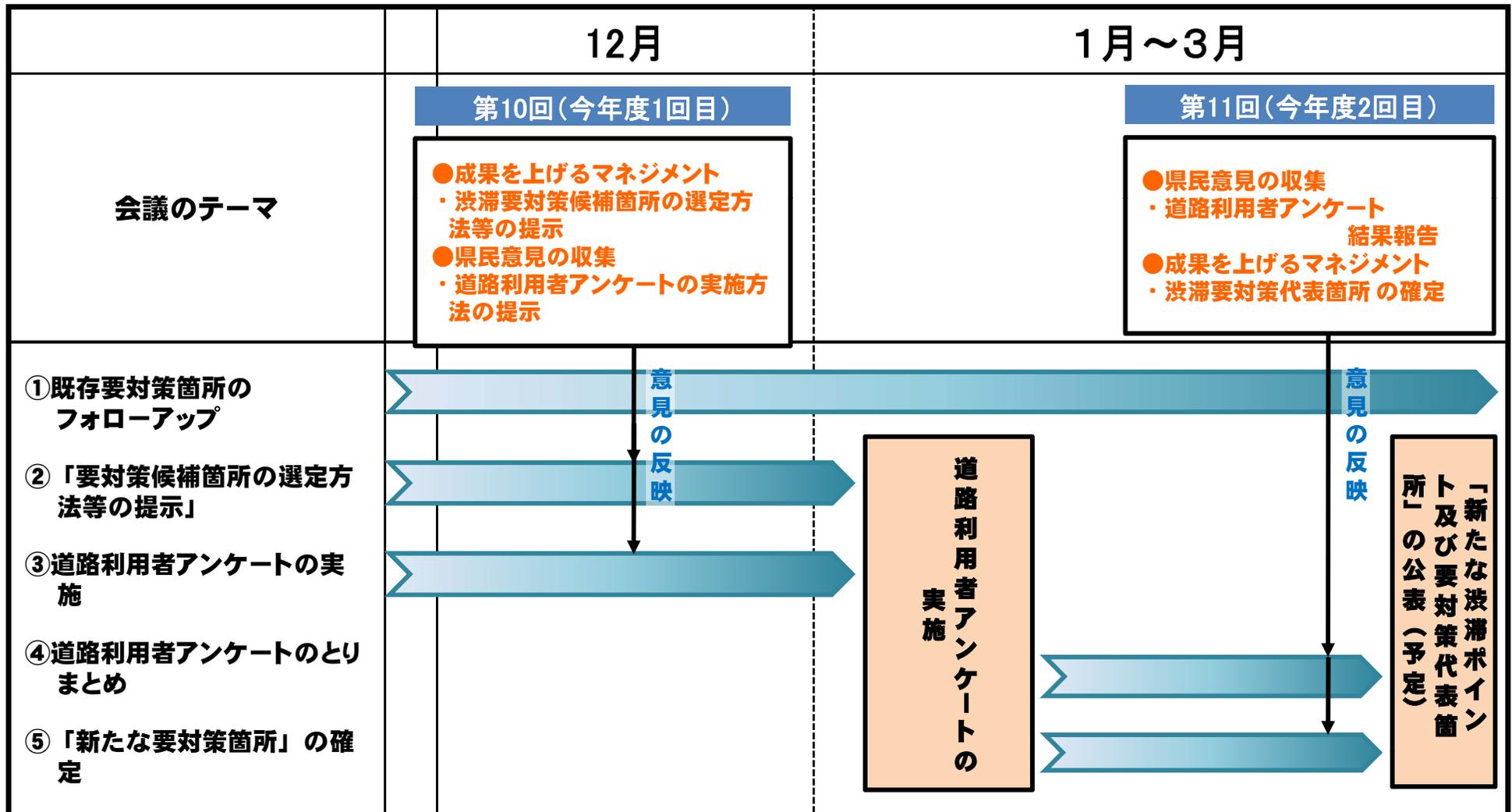
- ・道路線形の見直し(急カーブの改善)
- ・視距の確保 ・減速路面表示 ・注意看板 等

【「成果を上げるマネジメント」の流れ】



3. 今年度の会議の進め方

- 渋滞対策において『成果を上げるマネジメント』の取り組みを導入。
- 県内の渋滞箇所について、アンケートにより県民等のご意見を踏まえたうえで、公表します。



4. 本会議におけるこれまでの移動性阻害対策の取組について

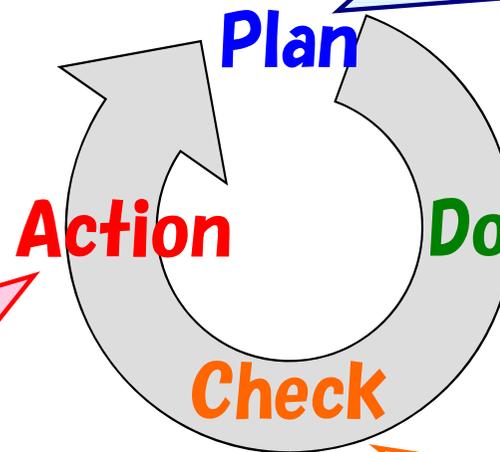
これまでの移動性阻害対策の取り組み概要

Plan ; 要対策箇所の抽出・選定、対策立案

平成17年度	<ul style="list-style-type: none">抽出の考え方: 評価指標は、平成17年度プローブ調査データ等による8指標「平日・休日のピーク時渋滞損失時間」、「対策未着手の主要渋滞ポイント」、「バスの走行性低下」、「道路防災危険箇所」、「通行止め発生箇所」、「未改良・線形不良区間」、「観光路線の休日の速度低下」、「日光杉並木の保全区間」により抽出選定方法: 県民との実感検証を実施 → 22箇所を選定 → 選定箇所別に対策メニューを設定
平成19年度	「渋滞損失時間」を評価指標として新たに 5箇所を選定 [平成18年度プローブ調査データ] → 選定箇所別に対策メニューを設定

Action ; 対策箇所、対策等の見直しなど

- 優先的な予算配分による対策の実施促進(対策実施中)、新たな対策メニューの検討・実施



Do ; 対策の実施

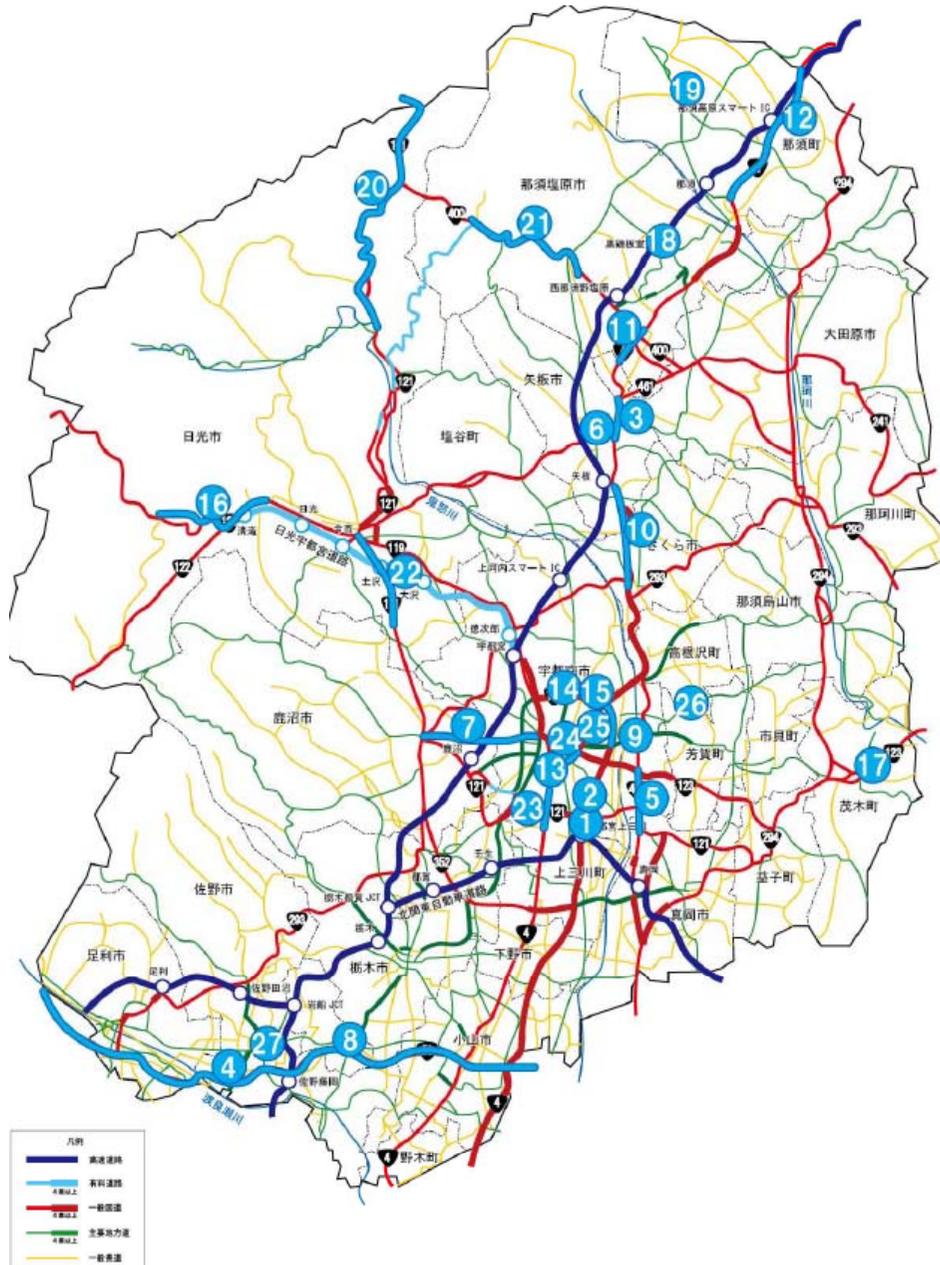
完了12箇所
実施中15箇所

Check ; 対策実施による効果検証

- 効果検証指標: 渋滞損失時間、渋滞長、通過所要時間等 [H21年度プローブ調査データ等]
- 効果検証方法: 対策実施前後の検証指標を比較し、効果を検証

5. 既存の要対策代表箇所(移動性阻害27箇所)

位置図



要対策代表箇所(移動性阻害27箇所)

番号	路線名 (箇所名)
1	新4号国道 (宇都宮市:瑞穂野団地入口交差点付近)
2	新4号国道 (宇都宮市:問屋町交差点付近)
3	国道4号 (矢板市:中交差点、土屋交差点付近)
4	国道50号 (足利市~小山市)
5	国道408号 (真岡市~宇都宮市)
6	主要地方道矢板那須線 (矢板市:本町交差点付近)
7	主要地方道宇都宮鹿沼線 (宇都宮市~鹿沼市)
8	主要地方道栃木藤岡線 (岩舟町:和泉交差点付近)
9	主要地方道宇都宮向田線 (宇都宮市:板戸付近)
10	国道4号 (矢板市:さくら市~矢板市)
11	国道4号 (那須塩原市:三区町~西富山)
12	国道4号 (那須町)
13	国道4号 (宇都宮市:西原交差点、川田入口交差点付近)
14	国道119号 (宇都宮市:関堀町交差点付近)
15	国道119号 (宇都宮市:下川俣交差点付近)
16	国道120号 (日光市:日光市内、いろは坂ほか)
17	国道123号 (茂木町:茂木付近)
18	主要地方道大田原高林線 (那須塩原市:黒磯IC)
19	主要地方道那須高原線 (那須町:一軒茶屋交差点付近)
20	国道121号 (日光市:旧藤原町~旧栗山村)
21	国道400号 (那須塩原市:塩原温泉地区付近)
22	国道121号 (日光市:(旧今市市):例幣使街道ほか)
23	国道4号 (宇都宮市:雀宮付近)
24	国道4号 (宇都宮市:卸売市場前交差点~平松町交差点)
25	国道4号 (宇都宮市:下平出交差点~平出交差点)
26	主要地方道宇都宮向田線 (高根沢町:台原付近)
27	主要地方道佐野田沼線 (佐野市:堀米町付近)

・既存要対策代表箇所(移動性阻害27箇所)の事業進捗状況

既存要対策27箇所対策実施状況一覧表

要対策代表箇所(移動性阻害27箇所)

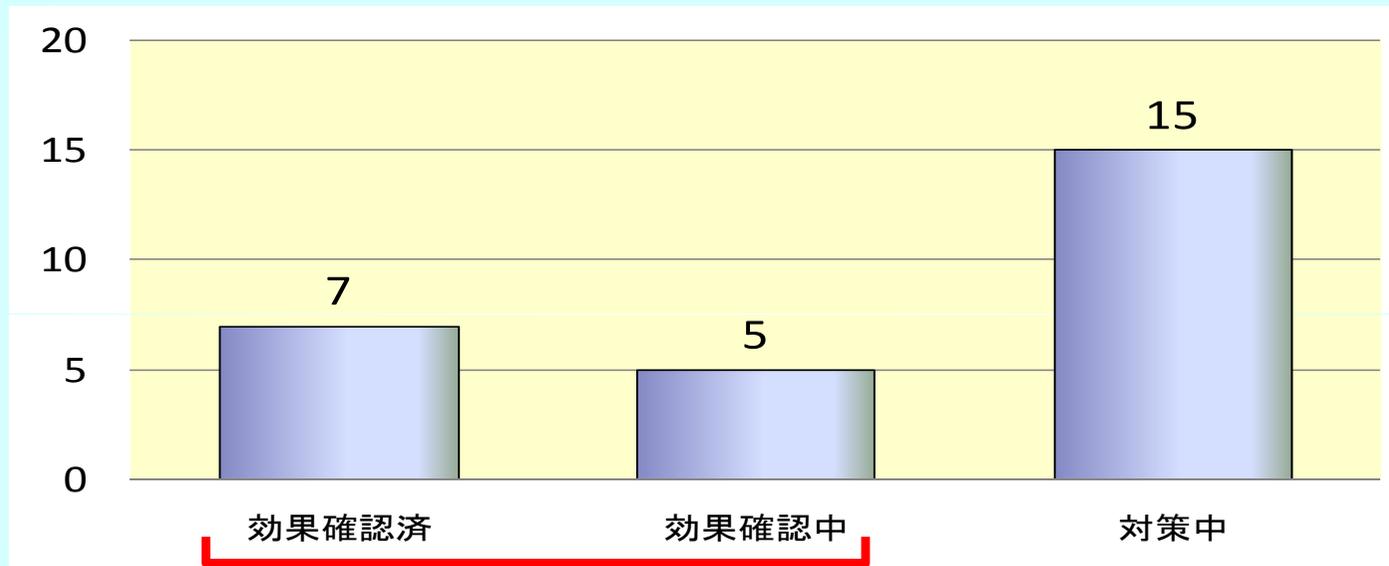
番号	路線名 (箇所名)	対策メニュー	対策実施計画					効果の検証 (23年度)	
			H19年度の実績	H20年度の実績	H21年度の実績	H22年度の実績	H23年度の実績		
1	新4号国道 (宇都宮市:瑞穂野団地入口交差点付近)	・路面表示、注意看板、電光掲示板(H15) ・信号現示調整 ・交差点立体化	H19.6.30 交差点立体化完成				効果確認 渋滞損失時間・8割削減 46→8万人時/年	効果確認済	
2	新4号国道 (宇都宮市:問屋町交差点付近)	・交差点立体化	実施中 (問屋町立体化工事)	実施中 (問屋町立体化工事)	H22.1.20 交差点立体化完成		効果確認 渋滞損失時間・減少 600→0m	効果確認済	
3	国道4号 (矢板市:中交差点、土屋交差点付近)	・右折レーン延伸(中交差点)(H18.10) ・信号制御(H18.10) ・右折レーン延伸(中交差点)(H20.7) ・現道拡幅	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中	対策実施中	
4	国道50号 (足利市~小山市)	・信号現示変更(半感応式) ・佐野スマートIC ・北関東自動車道整備(佐野田沼IC~群馬県境) (真岡IC~茨城県境)(佐野田沼IC~岩船JCT) ・交差点改良	H20.3 北関東自動車道 (宇都宮上三川IC~真岡IC 間開通)	H20.12 北関東自動車道 (真岡IC~桜川筑西IC間開 通)	実施中 北関東自動車道	北関東自動車道 (H22.4佐野田沼IC~岩船JCT 間開通) (H23.3太田桐生IC佐野田沼IC 間開通)	実施中 (一部効果検証)	対策実施中	
5	国道408号 (真岡市~宇都宮市)	・真岡北バイパス整備 ・真岡宇都宮バイパス整備	真岡北BP 実施中 (H20.2.23部分完成) 真岡宇都宮BP実施中	真岡北BP 実施中 真岡宇都宮BP実施中	真岡北BP (H21.11.30完成) 真岡宇都宮BP実施中	実施中 真岡宇都宮BP	実施中	対策実施中	
6	主要地方道矢板那須線 (矢板市:本町交差点付近)	・矢板バイパス整備(矢板市本町工区) ・交差点改良	実施中	実施中	実施中	矢板BP部分完成(L=24km) 交差点改良(H21完成)	効果検証	効果確認中	
7	主要地方道宇都宮鹿沼線 (宇都宮市~鹿沼市)	・現道拡幅(宇都宮市鶴田・砥上工区) (宇都宮市荒針工区)	実施中	鶴田・砥上 H20.11.6完成	荒針 実施中	荒針 実施中	実施中	対策実施中	
8	主要地方道栃木藤岡線 (岩舟町:和泉交差点付近)	・現道拡幅(岩舟町静和工区)	H19.3.30完成			効果確認 渋滞損失時間・3割削減 659→497万人時/年	効果確認済		
9	主要地方道宇都宮向田線 (宇都宮市:板戸付近)	・橋梁(板戸大橋)新設 (宇都宮市平出・板戸工区)	板戸大橋 (H20.3.23 2車線部分完成)	実施中	実施中	実施中	実施中	対策実施中	
10	国道4号 (矢板市:さくら市~矢板市)	・信号制御の高度化 ・バイパス整備および道路拡幅	実施中(H21年度:バイパス 部暫定開通予定)	実施中(H21年度:バイパス 部暫定開通予定)	実施中(H21.7.11バイパス部 暫定開通)	実施中(H22.4.26バイパス部一 部4車線化)	実施中	対策実施中	
11	国道4号 (那須塩原市:三区町~西富山)	・信号制御の高度化 ・西那須野道路整備	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中	対策実施中	
12	国道4号 (那須町)	・歩道設置	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中	対策実施中	
13	国道4号 (宇都宮市:西原交差点、川田入口交差点 付近)	・右折レーン延伸(西原交差点)(H19) ・信号現示改良 ・西原交差点改良(川田入口交差点立体化)	H20.3.29 交差点立体化完成				効果確認 渋滞損失時間・7割削減 944→254千人時/年	効果確認済	
14	国道119号 (宇都宮市:関堀町交差点付近)	・交差点立体化(関堀町交差点)	H20.3.17 交差点立体化完成				効果確認 渋滞損失時間・4割削減 73→42千人時/年	効果確認済	
15	国道119号 (宇都宮市:下川俣交差点付近)	・宇都宮環状北道路整備	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中	対策実施中	
16	国道120号 (日光市:日光市内、いろは坂ほか)	・第1いろは坂部分拡幅	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中	対策実施中	
17	国道123号 (茂木町:茂木付近)	・茂木バイパス整備	実施中	実施中	H22.3 3期工区完成 (全線開通)		効果検証	効果確認中	
18	主要地方道大田原高林線 (那須塩原市:黒磯IC)	・黒磯板室IC整備	実施中	実施中 (H21.3.29完成)			効果確認 渋滞損失時間・1割削減 533→481人時(休日3h)	効果確認済	
19	主要地方道那須高原線 (那須町:一軒茶屋交差点付近)	・交差点改良、歩道新設(H18) (那須町一軒茶屋工区)	H19.3.12完成	実施中			効果確認 渋滞損失時間・1割削減 533→481人時(休日3h)	効果確認済	
20	国道121号 (日光市:旧藤原町~旧栗山村)	・防災対策(日光市五十里工区) ・雪害対策(日光市横川工区)	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中	対策実施中	
21	国道400号 (那須塩原市:塩原温泉地区付近)	・下塩原バイパス整備 ・中塩原バイパス整備	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中 H23.9.29中塩原B P・下塩原BP(一部)供用	対策実施中	
22	国道121号 (日光市:(旧今市市):例幣使街道ほか)	・板橋バイパス整備	実施中	実施中	実施中(H22.2.10森友地区 供用)	実施中	実施中	対策実施中	
23	国道4号 (宇都宮市:雀宮付近)	・交差点改良 ・歩道拡幅				実施中	実施中	対策実施中	
24	国道4号 (宇都宮市:卸売市場前交差点~平松町交 差点)	・新4号国道整備	実施中	実施中	実施中	実施中	H23.8.23 平出地区車線完 成	効果確認中	
25	国道4号 (宇都宮市:下平出交差点~平出交差点)	・6車線化整備	実施中	実施中	実施中	実施中	H23.8.23 平出地区車線完 成	効果確認中	
26	主要地方道宇都宮向田線 (高根沢町:台原付近)	・大塚バイパス整備(芳賀工業団地入口交差点改良) (ホンダ北入口交差点改良)	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中 ホンダ北入口交差点 暫定改良	対策実施中	
27	主要地方道佐野田沼線 (佐野市:堀米町付近)	・右折レーン設置 (佐野市堀米工区)	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中 右折レーン設置完了	効果検証	効果確認中

(凡例) 赤字 : 実施済み対策 黄色 : 着手済み 緑色 : 完成済み

・既存の要対策代表箇所(移動性阻害27箇所)のフォローアップ総括

フォローアップ総括

27箇所の全てについて対策を実施(実施中を含む)



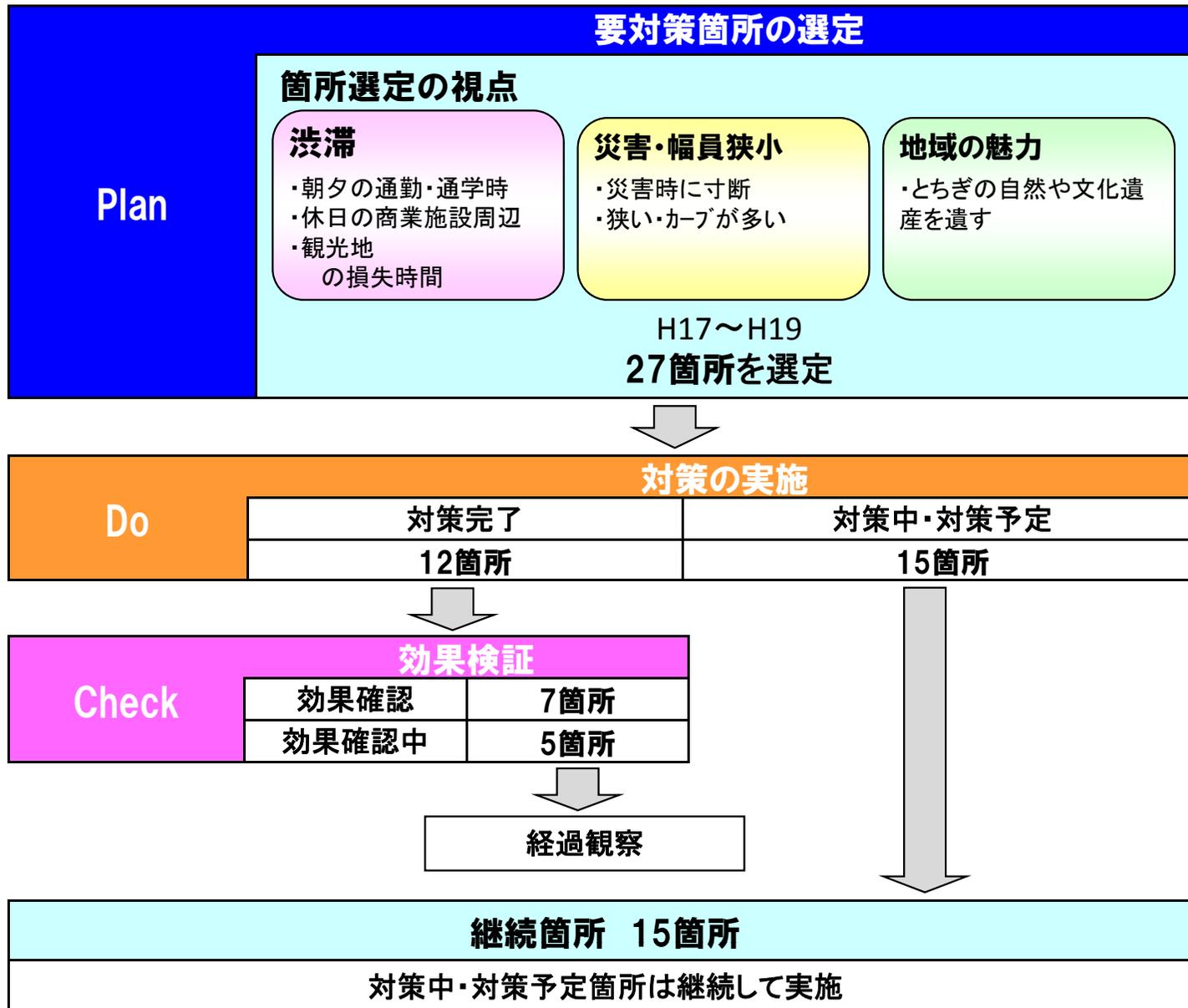
対策完了

- 対策完了12箇所中、7箇所^で効果を確認
- 交差点の立体化を含めた対策実施箇所^で効果が大きい [No1、No2、No13、No14]

新たな要対策箇所の選定と対策メニューの検討

既存要対策代表箇所への対策実施状況とりまとめ

対策実施状況及び効果検証状況のとりまとめ



・要対策代表箇所への対策取り組み事例①

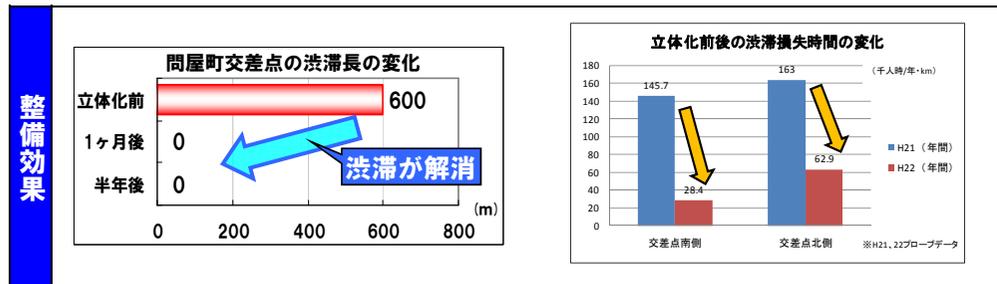
渋滞 2 問屋町交差点 (宇都宮市)

信号による停止が新4号国道の流れを阻害!! (平成17年時)

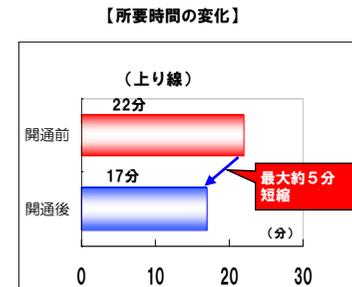
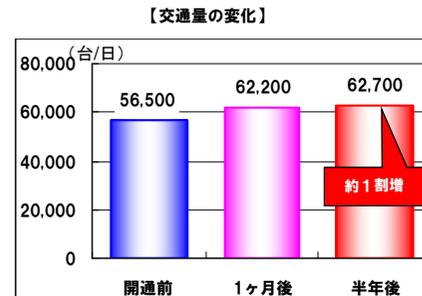
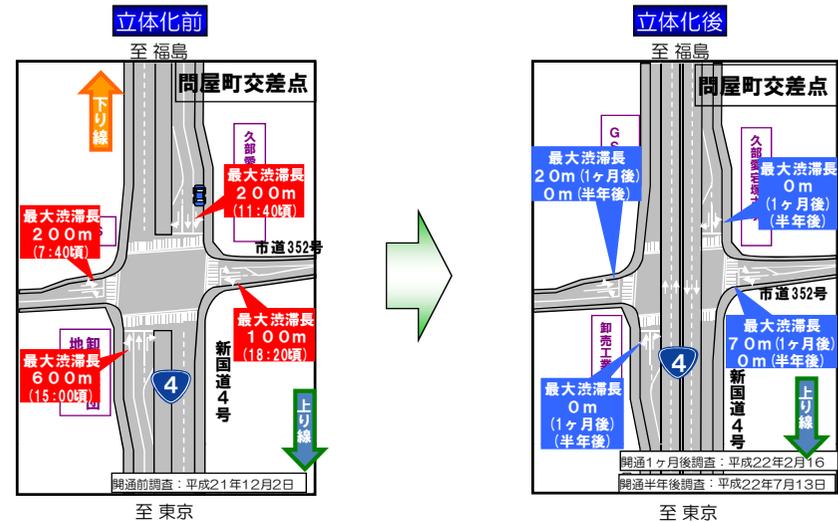
基礎情報	箇所概要	路線名 一般国道4号(新4号BP)
	箇所名	問屋町交差点
	住所	宇都宮市石井町
抽出指標	朝夕の渋滞(平成17年)	
抽出時の課題	<ul style="list-style-type: none"> 問屋町交差点周辺では、渋滞による浪費が年間約14億円 上下線共に、問屋町交差点を先頭で終日速度低下が発生 	



No	対策のねらい、方向性	具体的対策(案)	摘要
②	<ul style="list-style-type: none"> 渋滞の要因となっている信号停止機会をなくす 	<ul style="list-style-type: none"> 交差点立体化 	<ul style="list-style-type: none"> 実施済 (H22.1/20完成)
対策図	<ul style="list-style-type: none"> 問屋町交差点の立体化 	<p>【立体部(A-A断面)】 本線 側道 側道</p> <p>【立体部(B-B断面)】 本線と側道の間にガードレールなどが設置されています。 連結部 側道 本線 本線 側道</p>	



- 最大600mあった渋滞の長さが立体化により0mで解消
- 平出工業団地～宇都宮上三川IC間の所要時間が上り線・下り線ともに最大約5分短縮



評価

- 問屋町交差点の立体化により渋滞長がなくなり、通過時間も5分短縮され、周辺の交通状況は改善された

効果確認

・要対策代表箇所への取り組み事例②

渋滞 14 関堀町交差点 (宇都宮市)

環状道路と放射状道路の交差点で渋滞が発生!! (平成17年時)

基礎情報	箇所概要	路線名	一般国道119号
		箇所名	関堀町交差点
		住所	宇都宮市関堀町
	抽出指標	朝夕の渋滞(平成17年)	
	抽出時の課題	宇都宮環状北道路の平面交差点を中心とし、渋滞が発生	



No	対策のねらい、方向性	具体的対策(案)	摘要
14	<ul style="list-style-type: none"> 環状方向と放射方向の車両の動線を分離し、スムーズな交通の流れを可能とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 宇都宮環状北道路の整備(関堀町交差点の立体化) 	<ul style="list-style-type: none"> 実施済(H20.3/17供用)

対策: 宇都宮環状北道路の整備(関堀町交差点)

対策のねらいと対策箇所

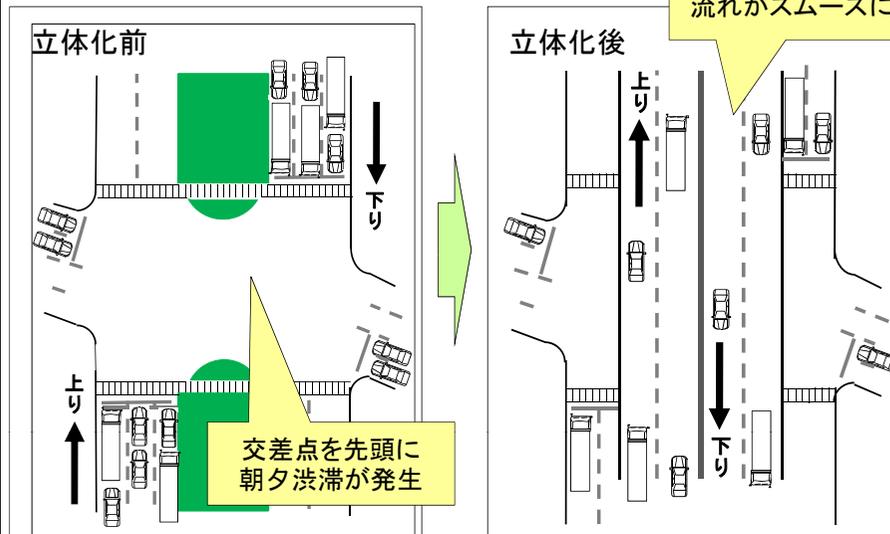


関堀町交差点の渋滞発生状況

- 評価
- 関堀町交差点の渋滞損失時間は4割削減
 - 関堀町交差点前後は、未対策の他区間に比べ大幅に減少

効果確認

- 環状方向と放射方向の車両の動線が分離され、交通の流れがスムーズに
- 関堀町交差点の渋滞損失時間が約4割削減(73が42千人時/年・km)



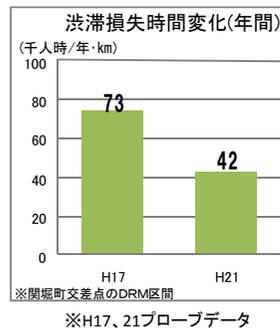
整備効果



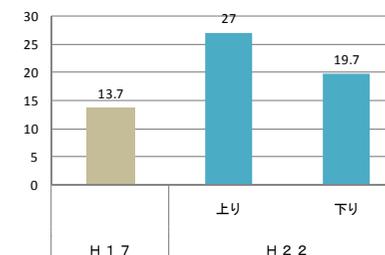
整備前



整備後



混雑時平均旅行速度の変化(km/h)



(3) 渋滞対策候補箇所の選定について

本日の会議における論点

- ・新たな要対策候補箇所の選定方法等について(案)
- ・道路利用者アンケートの実施方法について(案)

○本日の会議における論点

本日の会議では、以下の点についてご議論いただきたい。

【論点】『成果を上げるマネジメント』～『渋滞要対策候補箇所の選定について』

【論点1】新たな要対策候補箇所の選定方法等について(案)

⇒新たな要対策代表箇所の選定方法を提示、様々な交通データに基づき抽出した新たな主要渋滞ポイント候補箇所を提示

【論点2】道路利用者アンケートの実施方法について(案)

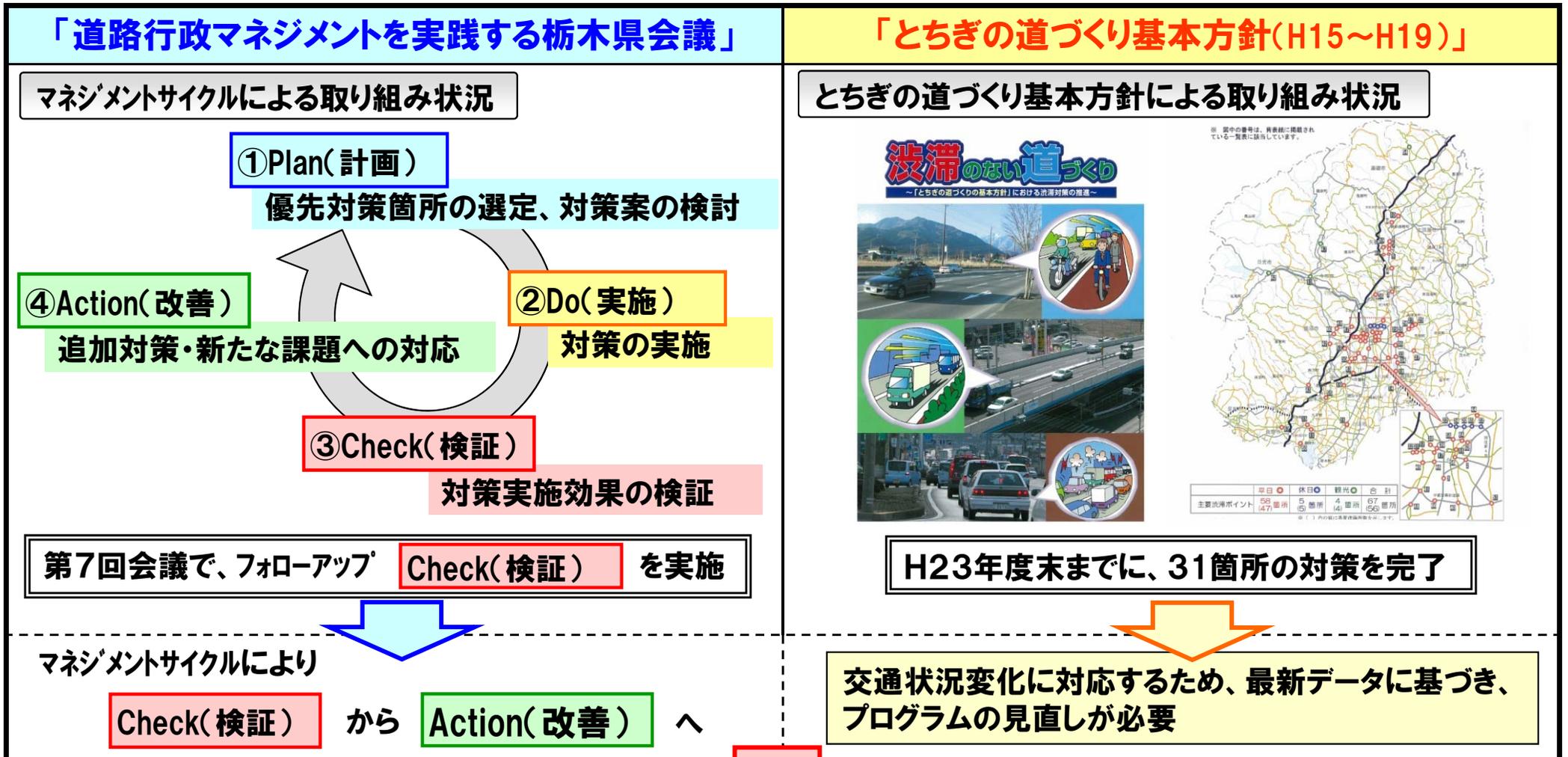
⇒提示した「主要渋滞ポイント候補箇所」について県民等の意見を聴取

【論点1】

新たな要対策候補箇所を選定方法等について (案)

1. 栃木県における渋滞対策の取り組みについて

- ▶ 「道路行政マネジメントを実践する栃木県会議」において、移動性の向上のための代表箇所を選定し、対策を実施
- ▶ 「とちぎの道づくり基本方針」における対策が必要な主要渋滞ポイントについて、対策を実施



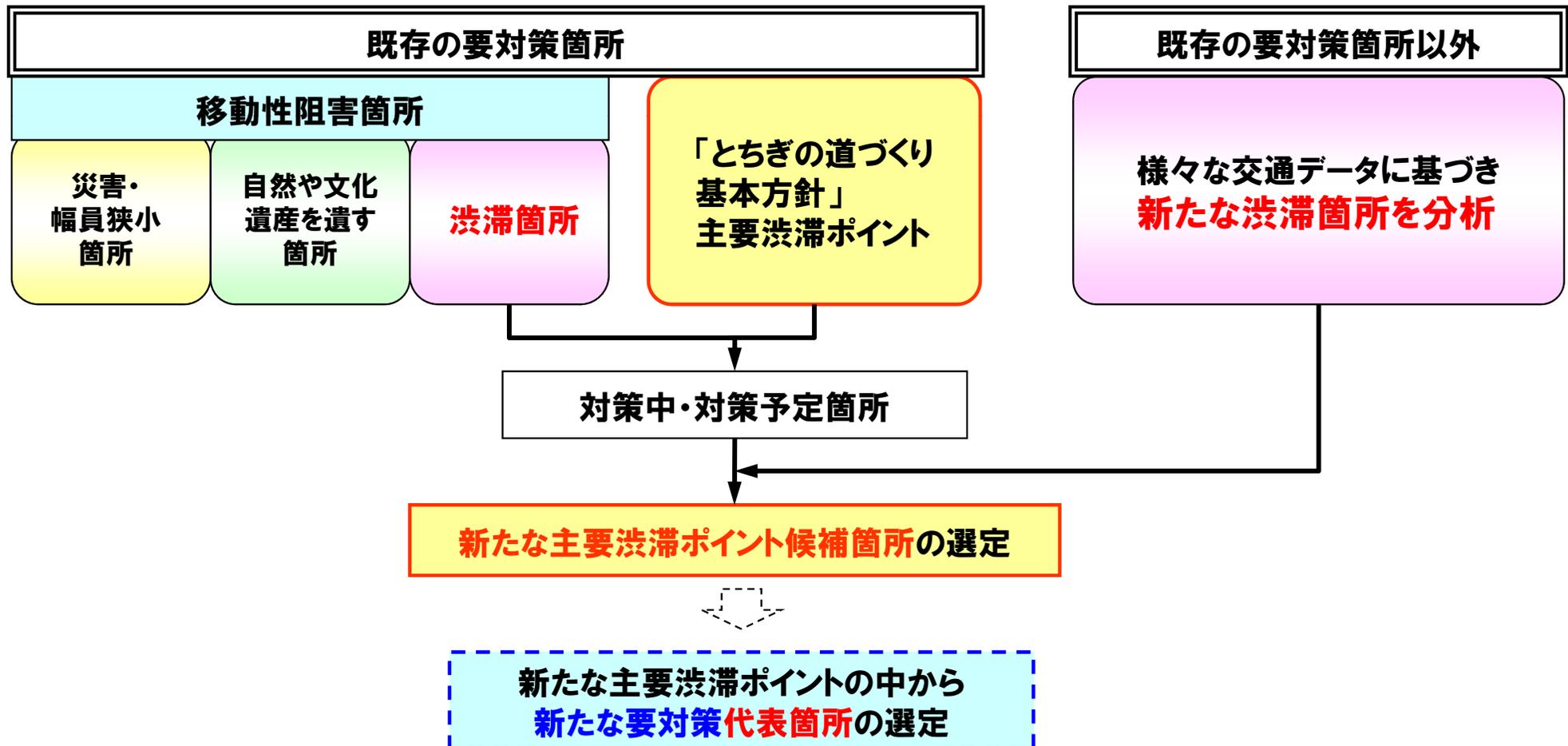
既存の要対策箇所の対策を推進するとともに、新たな課題箇所を把握

2. 本会議における今後の渋滞対策の進め方(案)

新たな課題箇所を加えた取り組み

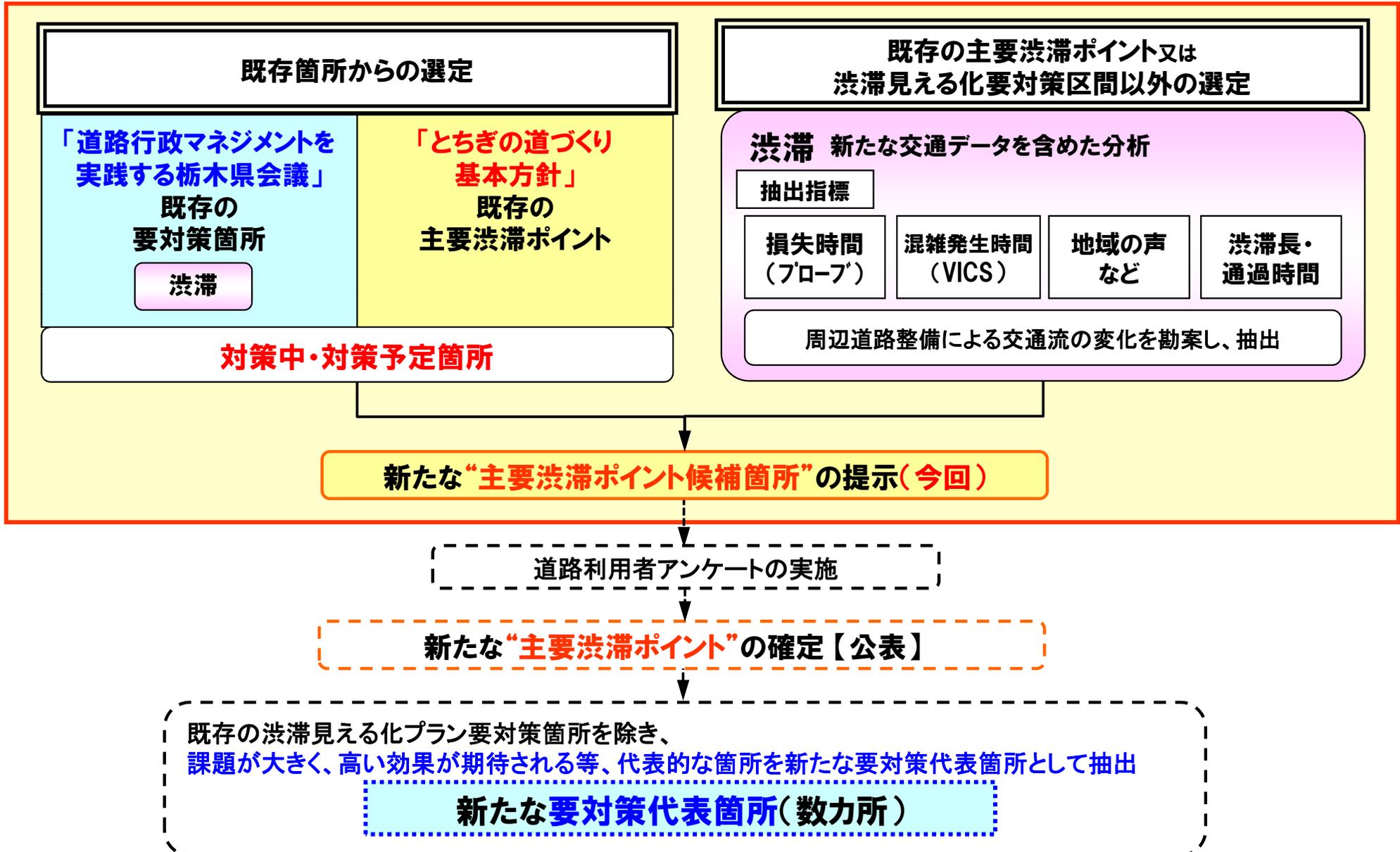
- ▶ 栃木県における既存の渋滞箇所の対策が進捗したことから、新たな課題箇所を選定し、渋滞対策に取り組みます。
- ▶ 本会議における要対策代表箇所は、渋滞の視点から新たな主要渋滞ポイントを選定したうえで、その中から選定します。

要対策代表箇所選定の流れ(案)



3. 新たな要対策代表箇所を選定フロー(案)

新たな要対策代表箇所を選定フロー(案)



4. 新たな渋滞箇所把握のための選定基準

新たな視点を含めた渋滞箇所の抽出指標

今回の抽出指標

箇所選定の視点	渋滞			
抽出指標 (案)	損失時間 (H21プローブデータ)	混雑発生時間 (H21VICSデータ)	地域の声など	渋滞長 または 通過時間 (既存主要渋滞ポイントの定義)
	「H17道路交通センサス区間の年間損失時間30,000人時間/km以上※1)」を抽出指標の一つとする	「交差点における朝夕ラッシュ時等の混雑発生時間※2)が50%以上」を抽出指標の一つとする	「地元市町などからの混雑指摘の有無」を抽出指標の一つとする	既存の主要渋滞ポイントの定義の一つである以下について、抽出指標の一つとする ・DID内の場合： 最大渋滞長 1km以上 または 最大通過時間 10分以上 ・DID外の場合： 最大渋滞長 500m以上 または 最大通過時間 5分以上

※1) 年間損失時間約30,000人時間/km

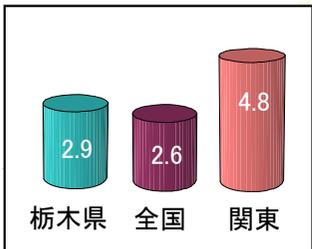
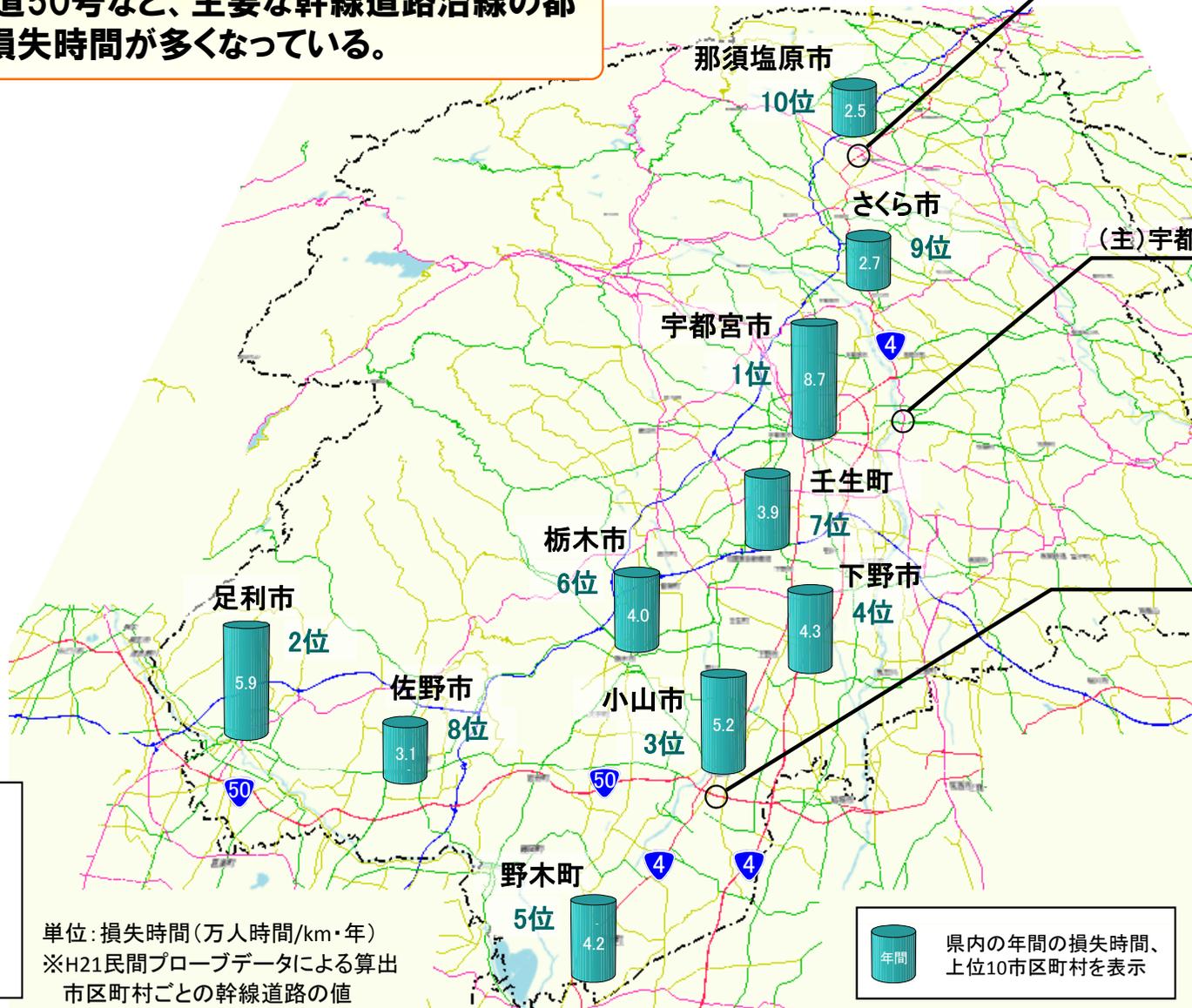
日(12h)交通量の50%が「平均速度20km/h以下」で走行すると仮定した際の損失時間の試算値(=約30,000人時間/km)

※2) 混雑発生時間

混雑発生時間とは、「平均速度20km/h以下」の状態となる時間のこと

5. プローブデータ(損失時間)による栃木県の交通状況

- ▶ 栃木県の損失時間(2.9万人時間/km・年)は全国値(2.6万人時間/km・年)を上回っている。
- ▶ 国道4号や国道50号など、主要な幹線道路沿線の都市において、損失時間が多くなっている。



国道4号 三島交差点付近



(主)宇都宮茂木線 道場宿町交差点付近



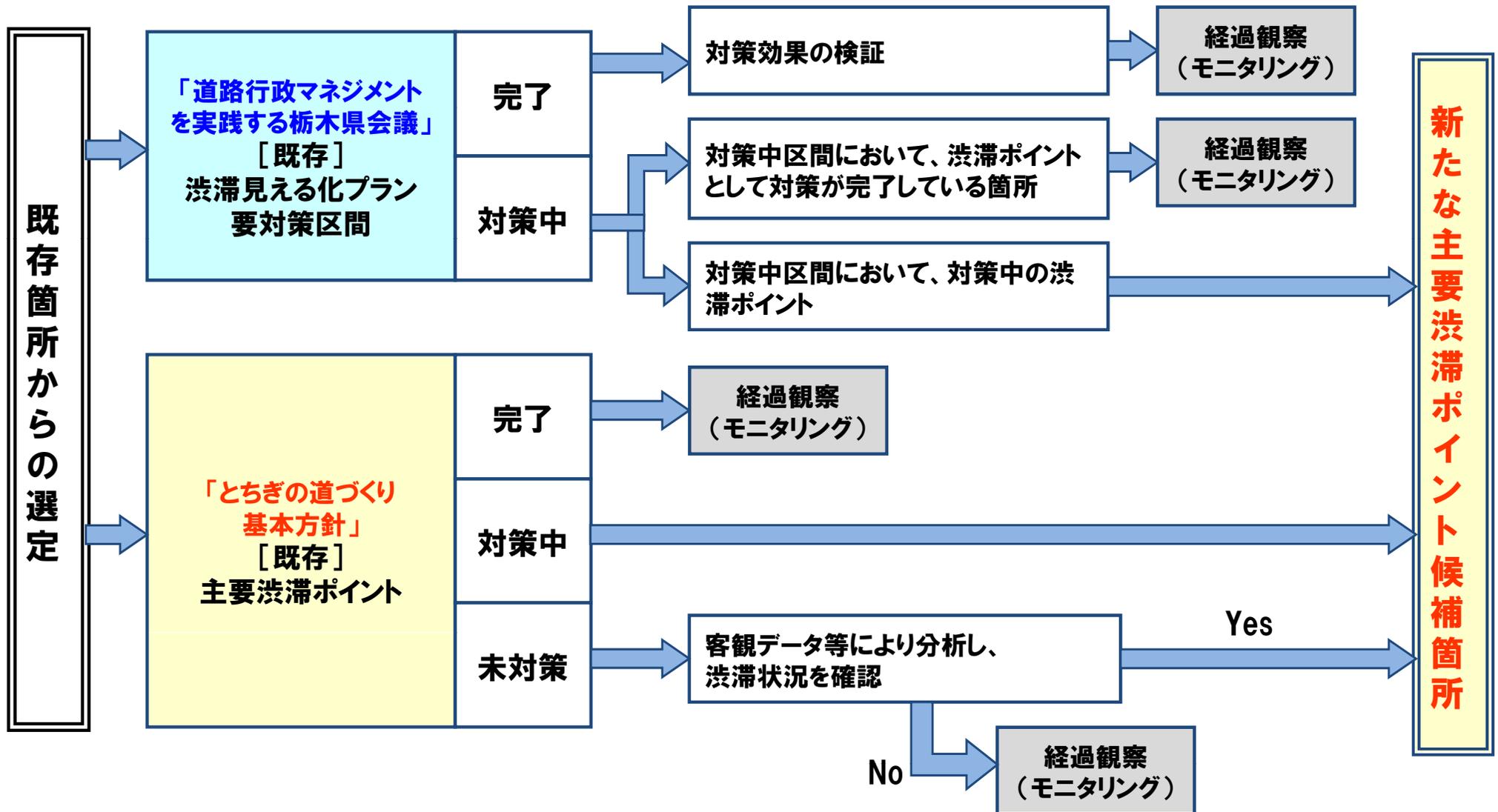
国道50号 駅南4丁目付近



県内の年間の損失時間、上位10市区町村を表示

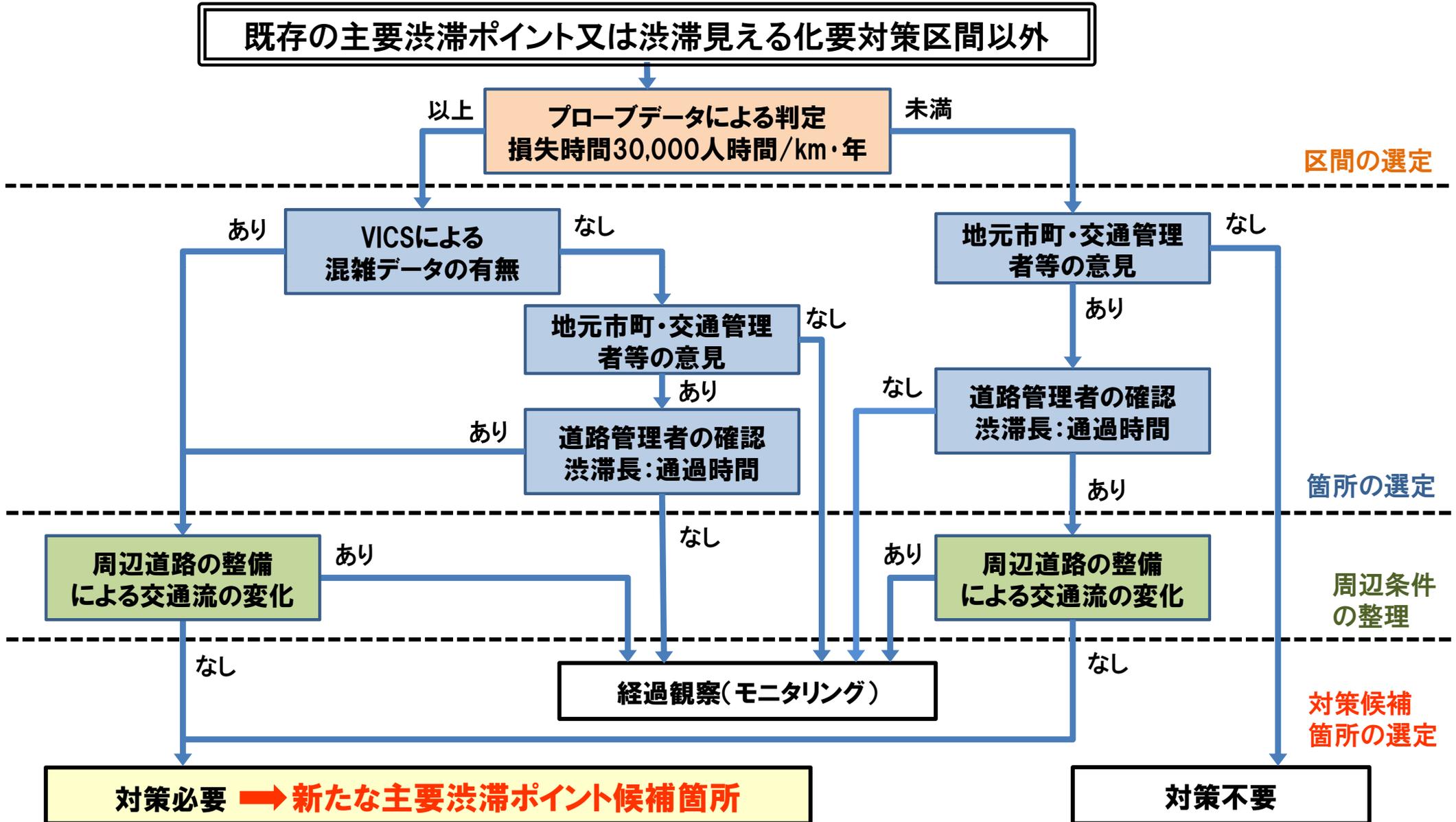
6-1. 新たな主要渋滞ポイントに位置づけるべき既存要対策箇所について

▶ 新たな主要渋滞ポイント候補箇所を決めるにあたり、既存の「本会議における渋滞要対策箇所」と「既存の主要渋滞ポイント」のうち、以下に該当する箇所を新たな主要渋滞ポイントの候補箇所とする。



6-2. 客観データを活用した新たな主要渋滞ポイントの抽出方法

▶ 様々なデータを活用し、新たな主要渋滞ポイントの候補箇所を抽出します。



7-1. 新たな主要渋滞ポイント候補箇所

■既存箇所からの抽出

「道路行政マネジメント を实践する栃木県会議」 [既存] 渋滞見える化要対策区間 渋滞の視点 22区間		「とちぎの道づくり基本方針」 [既存] 主要渋滞ポイント 67箇所(交差点)		
完了	対策中	完了	対策中	未対策
12区間	10区間	31箇所	18箇所	18箇所

対策中の渋滞ポイント
(21交差点うち15交差点は重複箇所のため)
6箇所

渋滞確認箇所
7箇所

新たな主要渋滞ポイント候補箇所 52箇所

■新たな箇所の抽出

既存の主要渋滞ポイント
又は
渋滞見える化要対策箇所以外

全センサス区間656区間

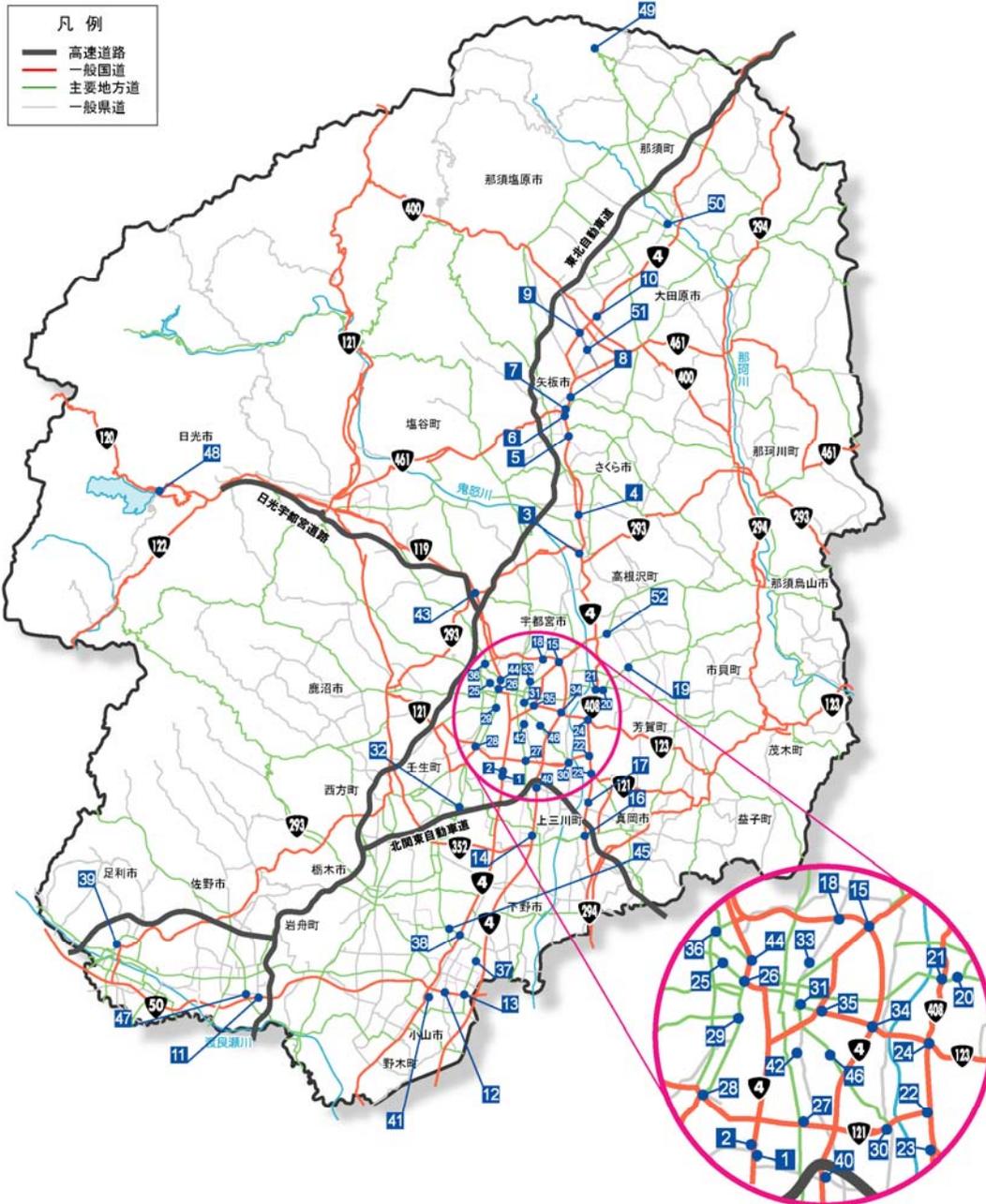
区間の選定 損失時間データより **129区間**

箇所(交差点)
の選定
・VICSデータ
・地元の声
・渋滞長、通過時間 より **22箇所**

周辺条件の
整理 交通流の変化が見込め
ない箇所 **21箇所**

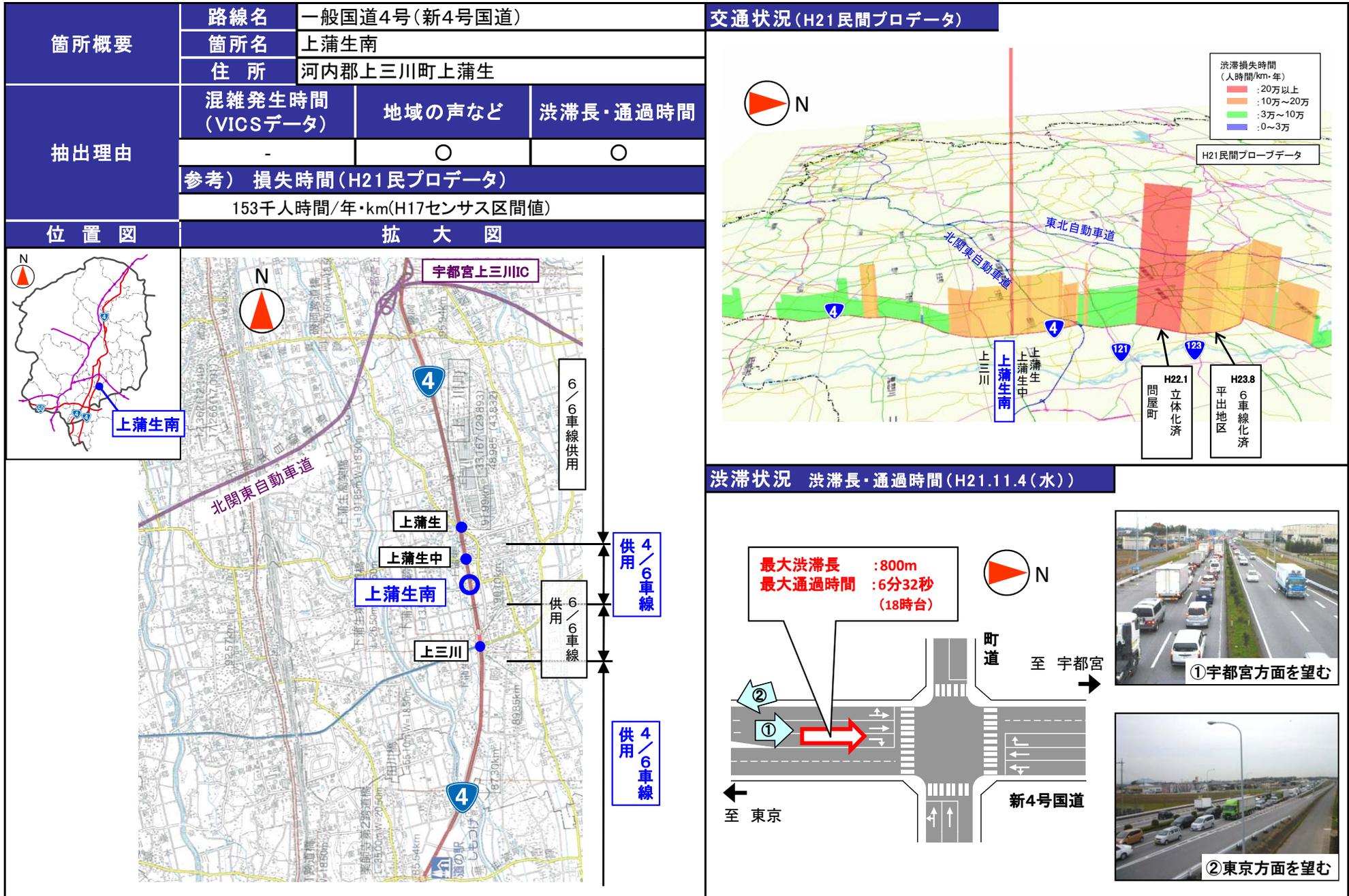
7-2. 新たな交通データ等に基づく主要渋滞ポイント候補箇所

新たな主要渋滞ポイント候補箇所



新たな候補箇所 No.	交差点名	路線名	既存(継続)		新規
			見える化	渋滞P	
1	安塚街道入口	一般国道 4号	●		
2	雀宮駅前	一般国道 4号	●		
3	馬場南	一般国道 4号	●	●	
4	蒲須坂南	一般国道 4号	●		
5	早川町	一般国道 4号	●	●	
6	中	一般国道 4号	●	●	
7	中北	一般国道 4号	●	●	
8	土屋	一般国道 4号	●	●	
9	二区	一般国道 4号	●	●	
10	三島	一般国道 4号	●	●	
11	佐野新都市	一般国道 50号	●		
12	駅南4丁目	一般国道 50号	●		
13	横倉新田	一般国道 50号	●		
14	上蒲生南	一般国道 4号			●
15	平出工業団地	一般国道 4号			●
16	長田十字路口	主要地方道 真岡上三川線	●	●	
17	真岡製作所前	一般県道 雀宮真岡線	●	●	
18	宮環白沢街道	一般国道 119号	●	●	
19	台の原農園前十字路口	主要地方道 宇都宮向田線	●	●	
20	野高谷	主要地方道 宇都宮茂木線	●	●	
21	道場宿町	主要地方道 宇都宮向田線	●	●	
22	上籠谷	一般国道 121号	●	●	
23	下籠谷	一般国道 408号	●	●	
24	鐘山	一般国道 408号	●	●	
25	一の沢	主要地方道 宇都宮今市線	●	●	
26	桜2丁目	主要地方道 宇都宮今市線	●	●	
27	宮環上三川街道	主要地方道 宇都宮結城線	●	●	
28	宮環栃木街道	一般国道 121号	●	●	
29	滝谷町	主要地方道 宇都宮楡木線	●	●	
30	桑島	一般国道 121号	●	●	
31	築瀬町JR立体部	主要地方道 宇都宮笠間線	●	●	
32	おもちゃのまち	主要地方道 宇都宮栃木線	●	●	
33	竹林町	一般県道 氏家宇都宮線		●	
34	石井	一般国道 123号			●
35	平松町	主要地方道 宇都宮笠間線			●
36	細谷町	主要地方道 大沢宇都宮線			●
37	小山高専入口	主要地方道 小山環状線			●
38	羽川	主要地方道 小山環状線			●
39	けやき小前	主要地方道 足利環状線			●
40	磯岡	一般県道 雀宮真岡線			●
41	粟宮北	一般県道 粟宮喜沢線			●
42	下栗	一般県道 二宮宇都宮線			●
43	徳次郎	一般国道 119号			●
44	松原3丁目	一般国道 119号			●
45	扶桑	主要地方道 小山環状線			●
46	下栗五差路	主要地方道 宇都宮真岡線			●
47	高萩町	一般県道 佐野環状線			●
48	二荒橋前	一般国道 120号			●
49	那須山麓駅北	主要地方道 那須高原線			●
50	晩翠橋南	主要地方道 西那須野那須線			●
51	野崎二区町	一般県道 西那須野下石上線			●
52	鷺ノ谷	主要地方道 宇都宮那須高山線			●

8. 新たな主要渋滞ポイント候補箇所(事例)



【論点2】

道路利用者アンケートの実施方法について(案)

1. 道路利用者アンケート(案)について

道路利用者アンケートの目的

- ◎ 県民および道路利用者実感との乖離を検証
- ◎ 本会議の取り組みを広く県民や道路利用者にPRする

アンケート実施概要

- ◎ 実施主体: 道路行政マネジメントを実践する栃木県会議
- ◎ 基本方針:
 - ・ 栃木県民の回答者の属性(年代、居住地など)のバランスに配慮して意見を収集
 - ・ 栃木県内の道路を利用する県外の利用者、事業者の意見も収集
- ◎ アンケート実施期間: 平成24年1月予定
- ◎ アンケート対象:
 - (1) 一般県民(20歳以上)
 - (2) 道路利用者(道の駅やSA・PA利用者、事業者)
 - (3) その他

2-1. アンケート実施方法

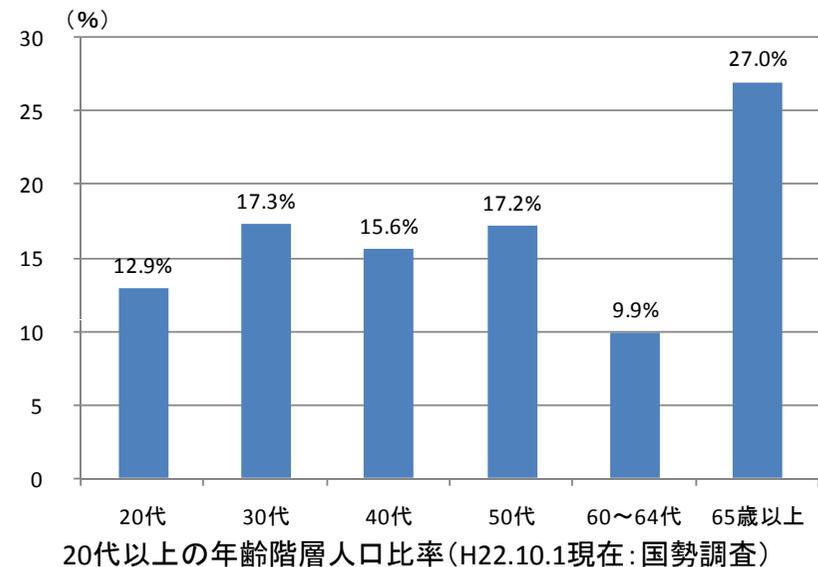
(1)一般県民アンケート

◎アンケート対象：20歳以上の栃木県内道路の利用者

◎実施方法：インターネットアンケート、郵送、留め置き、HP

◎サンプル数の考え方：

- ・栃木県内の20歳以上人口(162万人：H22国勢調査)に対して、信頼度95%の必要サンプル数・・・1,535票
- ・栃木県内を県北、県央、県南の都市部・非都市部別、各エリアの年齢別(5歳刻み)、性別の人口比率からサンプル数を算出
- ・必要サンプルをインターネットアンケート等により収集



(2)利用者アンケート

●道の駅、SA・PA 来訪者

- ◎アンケート対象 : 道の駅、SA・PA 来場者
- ◎実施方法 : 来場者への配布・郵送回収
- ◎配布数 : 各箇所 200部配布
- ◎実施場所 : 道の駅 19箇所(思川、どまんなかたぬま、もてぎ、湯の香しおばら、きつれがわ等、県内全箇所)
: SA・PA 18箇所(北関東自動車道、東北自動車道、日光宇都宮道路の県内区間全SA・PA)

●業務ドライバー

- ◎アンケート対象 : 消防署、バス協会、トラック協会、タクシー協会の所属ドライバー
- ◎実施方法 : 消防署・・・郵送
その他事業者・・・各社へ郵送送付・回収
- ◎配布数 : 消防署(32箇所)、バス協会(60社)、
トラック協会(13支部から10社ずつ抽出し130社)
タクシー協会(111社)

(3)その他

- ◎宇都宮国道事務所HPからもアンケートが回答できるようにサイトを開設

2-2. アンケート実施対象一覧

	インターネット モニターアンケート	シルバー人材セン ター等の団体を通じ たアンケート	市町 アンケート	道の駅、SA・PA アンケート
実施期間	平成24年1月予定			
対象	県内居住者	県内居住者	県内居住者	県内居住者、県外居住
	20歳以上	60歳以上	市町役場来庁者	道の駅、SA・PA来訪者
目標 回収数	1,500票	700票	回答数	回答数
備考		インターネットモニターアンケート での不足分を補完	留め置き・郵送回収	県内道の駅:19箇所 県内SA・PA:18箇所 留め置き・郵送回収

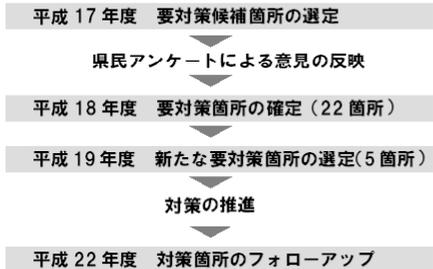
	協会(バス、トラック、タクシー) アンケート	消防署アンケート	宇都宮国道事務所 HPアンケート
実施期間	平成24年1月予定		
対象	物流事業者 バス事業者 タクシー事業者	県内消防署	県内居住者、県外居住者
			宇都宮国道HP閲覧者
目標 回収数	バス=30票 トラック=50票 タクシー=40票	30票	回答数
備考	郵送配布・郵送回収	郵送配布・郵送回収	

アンケート票(案) - 表面

【道路行政マネジメントを実践する栃木県会議事局とは】

国土交通省関東地方整備局宇都宮国道事務所と栃木県では、栃木県内の国道・県道で安全性の向上が必要な箇所や渋滞等のために、移動性に課題のある箇所の改善を図るため、平成17年度から「道路行政マネジメントを実践する栃木県会議」で優先的に対策を行うべき箇所を選定し、順次対策を進めています。

【移動性向上のための、これまでの取り組み状況】



【移動性向上のための、これからの取り組み】

県民のみなさんの意見を反映して新たな渋滞箇所を把握します。

様々なデータ等から、「道路行政マネジメントを実践する栃木県会議事局」において、新たな主要渋滞ポイント候補箇所を選定しました。

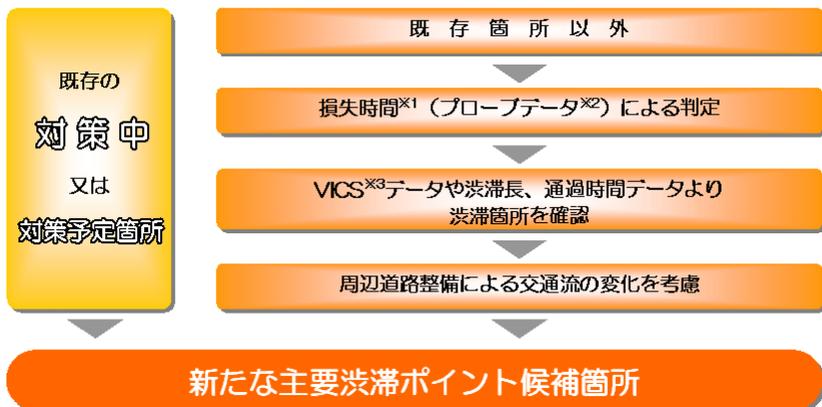
そこで

今回のアンケート調査により、

選定した候補箇所に対するみなさんのお考えや、道路行政についてご意見をいただき、今後のみちづくりの参考にさせていただくとともに、みなさんからいただいた意見を反映し、新たな主要渋滞ポイントを確定します。

【主要渋滞ポイント候補箇所の抽出の考え方】

様々な交通データから以下の考え方により、主要渋滞ポイント候補箇所を抽出しました。



※1: 損失時間とは渋滞や交通規制等により損失する時間のことです。
※2: プローブデータとは、自動車に搭載したGPS機器から得られる自動車の位置や速度データのことで、
※3: VICSとは、渋滞や交通規制等の情報を、カーナビなどで表示する通信システムのことで、

お問い合わせ

道路行政マネジメントを実践する栃木県会議 事務局

国土交通省宇都宮国道事務所 計画課 〒321-0931 栃木県宇都宮市平松町 504 電話: 028-638-2223
栃木県国土整備部 交通政策課 〒320-8501 栃木県宇都宮市埴田 1-1-20 電話: 028-623-2409

道路行政マネジメントを実践する栃木県会議 ~教えてください! 栃木県の渋滞~

渋滞で困っているみちはありませんか?

栃木県の道路に関するアンケート

「道路行政マネジメントを実践する栃木県会議」では、栃木県内の渋滞等のために移動性に課題のある箇所の改善に向けた取り組みを進めています。
今回、新たに渋滞対策が必要な箇所を検討していきます。

皆様の声が、渋滞解消への
一歩となります!!

ご意見募集期間

WED (仮) FRI (仮)

右のアンケートはがきで、あなたが知っている渋滞箇所を教えてください!!

- アンケートは、はがき 1 枚の簡単な調査です。右のアンケートにご記入いただき、はがきを切取った上で、そのまま最寄のポストにご投函ください。
- アンケートは、裏面にもあります。
- 皆様から頂いたアンケートの結果は、「道路行政マネジメントを実践する栃木県会議」にて渋滞対策検討を行う際の参考にさせていただきます。

詳しい情報をご覧になりたい方は、下記ホームページにアクセスしてください

また、追加意見等がございましたら、下記ホームページからもご回答いただけます。

国土交通省宇都宮国道事務所ホームページ
<http://www.ktr.mlit.go.jp/utonomiya/> 検索

郵便はがき

料金を取人払郵便

3 2 1 - 0 9 3 1

支店承認 9943

栃木県宇都宮市平松町 504
国土交通省宇都宮国道事務所内

道路行政マネジメントを実践する栃木県会議 事務局 行

【属性の入力】 あなた自身のことについてお聞かせ。
該当する項目の□に○を記入してください。

① 年齢: □20代 □30代 □40代 □50代 □60代(64歳以下) □65歳以上

② 性別: □男性 □女性

③ 住所: _____ 都道府県 _____ 区市町村

④ 栃木県内を利用する際、最も頻りに利用する交通手段:
□自動車(自分で運転) □自動車(他人が運転) □鉄道 □バス □二輪車
□自転車 □徒歩 □その他()

⑤ 栃木県内を自動車/バス・タクシーを含むで利用する頻度:
□ほぼ毎日 □週に2、3日程度 □週に1日程度 □月に2、3回程度
□年に数回程度 □その他()

⑥ 栃木県内を自動車/バス・タクシーを含むで利用する目的:
□通勤 □通学 □業務 □買い物 □私用 □観光 レジャー
□その他()

アンケート票(案) - 裏面

みなさまのご意見をお聞かせください！

■ 次の箇所(1～52の箇所)について、日ごろ道路を利用されている県民のみみなさまの実感をお答えください。

主要渋滞ポイント候補箇所52箇所は、さまざまな交通データの分析結果をもとに抽出されています。

詳しい情報をご覧になりたい方は、下記ホームページにアクセスしてください
 また、追加意見等がございましたら、下記ホームページからもご回答いただけます。
 国土交通省宇都宮国道事務所ホームページ
<http://www.ktr.mlit.go.jp/utunomiya/> [5つのみやこどう](#) [検索](#)

栃木県の道路に関するアンケート調査

【問1】日頃ご利用されている道路などについて、右図に示す主要渋滞ポイント候補箇所(52箇所)を、どのように思いますか？

- (感ね) 実感と合っている
- (あまり) 実感と合っていない
- わからない

【問2】主要渋滞ポイント候補箇所52箇所について伺います。混雑して困っている、対策が必要であると思う箇所について、その番号を記入して下さい。(5箇所まで)

--	--	--	--	--

【問3】主要渋滞ポイント候補箇所52箇所以外に、混雑していて対策が必要だと思ふ箇所(3箇所程度)がありましたら、具体的に記入下さい。

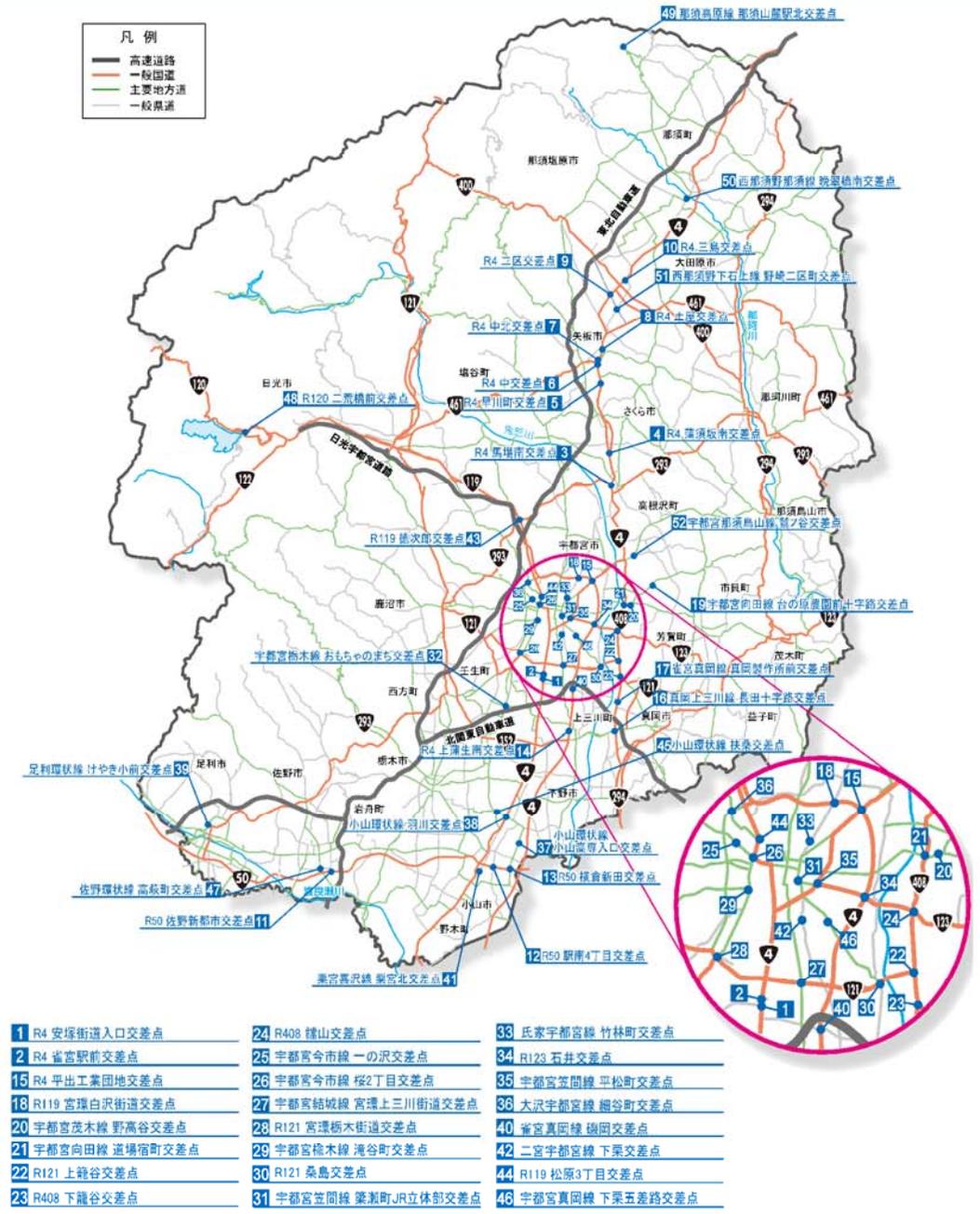
--	--	--

【問4】本会議の取組み内容や栃木県内の道路に関してご意見がございましたら、ご自由にお書き下さい。

--	--	--

主要渋滞ポイント候補箇所

No.	路線名	交差点名
1	国道4号	安塚街道入口
2	国道4号	省宮駅前
3	国道4号	馬場南
4	国道4号	蒲原坂南
5	国道4号	早川町
6	国道4号	中
7	国道4号	中北
8	国道4号	土屋
9	国道4号	二区
10	国道4号	三島
11	国道50号	佐野新都市
12	国道50号	駅南4丁目
13	国道50号	横倉新田
14	国道4号	上瀬生南
15	国道4号	平出工業団地
16	県道 真岡上三川線	真岡製作所前
17	県道 省宮真岡線	宮環白沢街道
18	国道119号	台の原農園前十字路
19	県道 宇都宮向田線	野高谷
20	県道 宇都宮茂木線	道場宿町
21	県道 宇都宮向田線	上籠谷
22	国道121号	下籠谷
23	国道408号	鎌山
24	国道408号	一の沢
25	県道 宇都宮今市線	桜2丁目
26	県道 宇都宮結城線	宮環上三川街道
27	国道121号	宮環栃木街道
28	県道 宇都宮榑木線	流谷町
29	国道121号	桑島
30	県道 宇都宮笠間線	築瀬町JR立体部
31	県道 宇都宮榑木線	おもちゃのまち
32	県道 氏家宇都宮線	竹林町
33	国道123号	石井
34	県道 宇都宮笠間線	平松町
35	県道 大沢宇都宮線	細谷町
36	県道 小山環状線	小山高専入口
37	県道 小山環状線	羽川
38	県道 足利環状線	けやき小前
39	県道 省宮真岡線	磯岡
40	県道 要宮沢線	栗宮北
41	県道 二宮宇都宮線	下栗
42	国道119号	徳次郎
43	国道119号	松原3丁目
44	県道 小山環状線	扶桑
45	県道 宇都宮真岡線	下栗五差路
46	県道 佐野環状線	高萩町
47	国道120号	二荒橋前
48	県道 那須高尾線	那須山麓北
49	県道 西那須野那須線	洗塚南
50	県道 西那須野下石上線	野崎二区町
51	県道 宇都宮那須山線	誠ノ谷
52	県道 宇都宮那須山線	誠ノ谷



(4) 事故ゼロプランの取り組み状況について

1. 事故ゼロプランの取り組み状況

平成22年12月20日に公表された『事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)』54箇所については、現在対策内容が確定し対策中の箇所が28箇所、調査中が1箇所。対策内容検討中が25箇所となっている。

番号	路線名 (箇所名)	選定理由 (区間選定の視点)				通学路	対策内容	対策の実施状況
		A	B	C	D			
1	国道50号(足利市西新井町交差点)	●	●	●			検討中	—
2	国道50号(足利市久保田町交差点)	●	●	●			道路標識・区画線設置	対策中
3	一般県道中野御厨線(足利市小曾根町)		●	●	●	●	歩道設置	対策中
4	国道50号(佐野市下羽田町交差点)		●	●	●		検討中	—
5	国道50号(佐野市高萩町)		●	●	●	●	検討中	—
6	主要地方道佐野田沼線(佐野市吉水町)		●	●	●	●	歩道設置	対策中
7	主要地方道佐野田沼線(佐野市堀米町交差点)	●	●	●	●		交差点改良・歩道設置	対策中
8	国道50号(岩舟町岩舟小学校付近交差点)		●	●	●		検討中	—
9	主要地方道栃木藤岡線(栃木市川連)	●	●	●	●		交差点改良・歩道設置	対策中
10	国道4号(野木町野木)		●	●	●		歩道整備	対策中
11	国道4号(小山市間々田)	●	●	●	●	●	検討中	—
12	国道4号(小山市粟宮)	●	●	●	●	●	検討中	—
13	新4号国道(小山市田間)	●	●	●	●		検討中	—
14	国道50号(小山市小山交差点)		●	●	●		検討中	—
15	国道50号(小山市駅南6丁目交差点)		●	●	●	●	道路標識・区画線設置	対策中
16	国道50号(小山市横倉新田交差点)		●	●	●		検討中	—
17	一般県道小山結城線(小山市駅東通り2丁目)	●	●	●	●		交差点改良	対策中
18	国道4号(小山市喜沢)	●	●	●	●	●	歩道整備	対策中
19	国道4号(小山市羽川)	●	●	●	●	●	歩道整備	対策中
20	新4号国道(小山市出井北交差点)		●	●	●		検討中	—
21	新4号国道(上三川町五分一交差点付近交差点)	●	●	●	●		交差点集約・横断橋設置	対策中
22	新4号国道(上三川町上蒲生南交差点)	●	●	●	●	●	検討中	—
23	新4号国道(上三川町磯岡交差点付近交差点)	●	●	●	●		検討中	—
24	国道4号(下野市鞠堂公民館付近交差点)	●	●	●	●	●	検討中	—
25	国道4号(宇都宮市茂原1丁目)		●	●	●		検討中	—
26	国道4号(宇都宮市安塚街道入口交差点～雀宮駅前交差点)	●	●	●	●	●	歩道整備	対策中
27	国道4号(宇都宮市上横田町)		●	●	●	●	歩道整備	対策中
28	国道119号(宇都宮市宇都宮北道路入口)	●	●	●	●	●	交差点立体化	調査中
29	一般県道鹿沼足尾線(鹿沼市樺山町)		●	●	●	●	歩道設置	対策中
30	主要地方道宇都宮鹿沼線(鹿沼市千渡)	●	●	●	●	●	バイパス整備	対策中
31	国道123号(益子町七井)		●	●	●	●	歩道設置	対策中
32	国道123号(芳賀町西水沼)		●	●	●	●	歩道設置	対策中
33	主要地方道宇都宮向田線(高根沢町上高根沢)		●	●	●	●	交差点改良	対策中
34	一般県道杉山石末線(高根沢町太田)		●	●	●	●	歩道設置	対策中
35	国道119号(日光市大室入口交差点)		●	●	●	●	バイパス整備	対策中
36	主要地方道今市氏家線(さくら市場)		●	●	●	●	歩道設置(踏切拡幅)	対策中
37	国道293号(那珂川町馬頭)		●	●	●	●	車道拡幅・歩道設置	対策中
38	一般県道小川大金停車場線(那珂川町小川)		●	●	●	●	車道拡幅・歩道設置	対策中
39	国道4号(矢板市早川町北交差点)	●	●	●	●		道路標識・区画線設置	対策中
40	国道4号(矢板市中)		●	●	●		検討中	—
41	国道4号(那須塩原市三島)		●	●	●	●	歩道整備	対策中
42	国道4号(那須塩原市三島北交差点)	●	●	●	●	●	検討中	—
43	国道4号(那須塩原市大原間)		●	●	●	●	歩道整備	対策中
44	国道400号(那須塩原市塩原)		●	●	●	●	バイパス整備	対策中
45	国道4号(那須町寺子乙)		●	●	●	●	検討中	—
46	一般県道豊原高久線(那須町寺子丙)		●	●	●	●	歩道設置	対策中
47	国道4号(那須町寺子丙ほか)		●	●	●	●	検討中	—
48	国道4号(那須町豊原乙)		●	●	●	●	検討中	—
49	国道50号(足利市瑞穂野町交差点)		●	●	●		検討中	—
50	国道50号(小山市神島谷東交差点)		●	●	●		検討中	—
51	国道50号(小山市小山東交差点)		●	●	●		検討中	—
52	国道50号(小山市雨ヶ谷新田地先交差点)		●	●	●		検討中	—
53	新4号国道(上三川町磯岡交差点)		●	●	●		検討中	—
54	国道4号(大田原市下石上交差点)		●	●	●	●	検討中	—

事故危険区間選定の視点

A.事故多発区間:①、②のいずれかに該当
 ①死傷事故件数(概ね県平均の10倍)
 ②死傷事故率(概ね300件/億台キロ)

B.死亡・重傷事故多発区間:③、④のいずれかに該当
 ③死傷者(概ね県平均の10倍)
 ④死亡・重傷事故件数(概ね県平均の5倍)

C.特徴的な区間:⑤～⑨のうち3項目以上該当
 ⑤夜間事故(概ね県平均の5倍)
 ⑥歩行者・自転車事故(概ね県平均の5倍)
 ⑦高齢者事故(概ね県平均の5倍)
 ⑧追突事故(概ね県平均の5倍)
 ⑨バリアフリー法(生活関連経路で移動等円滑化のための対応が必要な区間)

D.安全性の危機:⑩、⑪のいずれかに該当
 ⑩地域の声など
 ⑪アンケート

※④～⑧では、死傷事故件数2件/年以上の区間を対象

2. 事故ゼロプランの取り組み事例 (⑩国道4号野木歩道整備事業)

栃木県野木町野木では、片側しか歩道がなく通学時は町道を遠回りしている状況。
このため歩道を設置し、歩行者、自転車の安全性向上を図る。

① 歩道のない道路を迂回



通学状況

野木町内の通学状況

②



歩道がなく危険な状況

国道4号野木地区
(4年間※に交通事故[人対車両]が2件発生)

※出典:ITALDAデータ H18 ~ H21



野木小学校

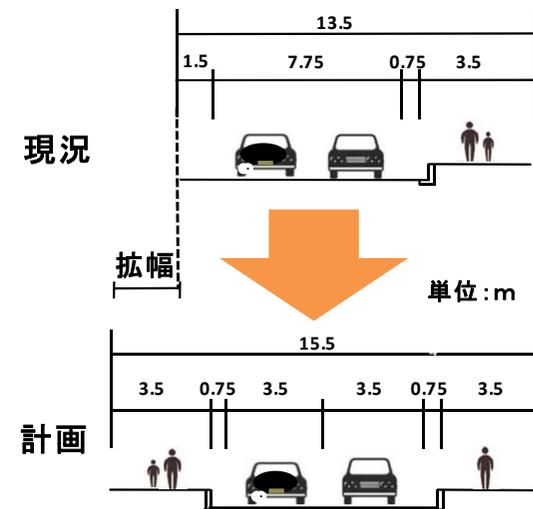


- [地元意見]
- ・事業化の厳しい中で最後のチャンスとなるのではと思っている。
 - ・完成はいつになるのか。
 - ・歩道整備を望んでいる。



★ : 事故発生箇所(どちらも下り方向)

○新たな歩道を設置



国道4号 交通量 23千台/日
(19千台/日)
※H22道路交通センサス
()内、H17道路交通センサス

今後の検討予定(案)

- ▶ 県民・道路利用者のご意見を踏まえ、新たな課題箇所を把握します。
- ▶ 本会議のご意見等を反映し、渋滞対策に取り組みます。

今年度(平成23年度)	12月(今回)	①渋滞対策候補箇所の選定について	第10回	<ul style="list-style-type: none"> ○新たな要対策候補箇所の選定方法等について(案) ○道路利用者アンケートの実施方法について(案) ○事故ゼロプランの取り組み状況について
	1月(予定)	②道路利用者アンケートの実施		<ul style="list-style-type: none"> ○道路利用者アンケートの実施
	年度内(予定)	③道路利用者アンケートのとりまとめ ④新たな主要渋滞ポイントの確定 ⑤新たな要対策代表箇所の確定	第11回(案)	<ul style="list-style-type: none"> ○道路利用者アンケート結果の報告 ○新たな主要渋滞ポイントの選定結果 ○新たな要対策代表箇所の選定結果
		⑥会議結果の公表		<ul style="list-style-type: none"> ○新たな渋滞ポイントおよび要対策代表箇所の公表
次年度以降		⑦新たな要対策代表箇所の対策案の検討	第12回(案)	<ul style="list-style-type: none"> ○新たな要対策代表箇所の対策案について ○既存の要対策箇所の対策実施状況について ○事故ゼロプランの取り組み状況について